京城日報

十七日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

支那の形勢

▲暴動は倪氏の指金

議會を包圍壓迫せる請願團暴徒を檢擧取調べの結果安武將軍倪嗣冲氏の命令なる事を自白し陸軍部國務院等の官吏も續々拘引せられしが倪氏を捕縛する事は困難なる事情あれば多分國會の査辦に附せらるべしとの說あり（上海特電）

▲米公使態度と反對派

最近參戰團加入反對の意を示したる米國公使ラインシュ氏は本國の訓令に接し遽かに贊成の態度を執れる結果段總理の方針に反對したる各政團も居据り說に傾くに至れり（上海特電）

▲衆議院宣戰案附議

十七日衆議院全院委員會を開催し宣戰案を附議す（北京電報）

◎對露講和提議

獨逸は露國に對し終に單獨講和を申込めり（十六日發紐育電報）

◎獨宰相の議會答辯

伯林來電＝獨逸宰相ベートマンホールウエッヒ氏は帝國議會に於ける議員の質問に答へて曰く「余は今日の場合是を語るも國家の爲め何等の利益なしとの理由を以て戰爭に對する我國の目的に就て述ぶるを欲せず」云々（倫敦電報）

◎土耳古も單獨講和

土耳古政府は露國に對しボスフオラス及ダーダネルス海峽解放を條件として單獨講和を提議せりと報ぜらる（桑港電報）

◎露外相戰線に向ふ

露國外相ミリユーコフ氏は軍需繼續の方針を宣明の爲め戰線に向け出發せり（桑港電報）

◎露陸相の辭職を非難

兩軍司令官も辭任か

露國內閣員は陸相グチコフ氏が辭職は社會主義傳播の結果現時の狀態を悲觀せるに起因すと認めらるゝに對し公然同氏の辭表提出の態度を非難したるが露國西方戰線司令官グルコ將軍及び同方面軍司令官ブルシロフ將軍も其の職を解かれん事を請ひたりと（露都電報）

◎社會黨代表者入閣可決

露國職工兵士代表實行委員會は四十一票對十九票を以て各派社會黨代表者の臨時政府入閣を可決したり（露都電報）

◎政務總監通過

山縣政務總監は十六日夕刻五龍背著一泊の上十七日午前七時二十分安東縣通過京城に向へり（安東縣特電）

◎青木課長等歸鮮

總督府商工課長青木戒三氏外事課通譯官菱田靜治氏十七日朝新羅丸にて釜山に上陸し午前十時半發列車にて京城に向ひ歸任せり（釜山特電）

◎鮮人職工渡航

中國製鐵株式會社にては鮮人職工使用の結果成績頗る良好なる爲め今回更に之を增傭する事となり十六日夜出港の高麗丸にて五十六名十七日朝出港の壹岐丸にて八十名を渡航せしめたるが前者は廣島工場へ後者は倉敷工場へ赴くものなりと（釜山特電）

◎清朝復辟計畫

實行期は議員改選後か

支那紙の記する所によれば新舊帝政派及北洋派の聯合提携の大計畫なる宣統帝復辟案は過般我東京某紙に由りて摘發せらるゝや興黨の驚愕一方ならず直に其一味なる陸宗輿氏を以て其無根なる事を內外に聲明せしめたるも該計畫の實在せるは勿論其

▲著々進行中 に在る事も全く事實にて這般の督軍會議の如きも之れと大關係あり該會議開始前斯黨の領袖倪嗣冲、段祺瑞等は所謂天津會議なる者を最秘密裡に天津に開き議會の武力壓迫、宣戰案可決、及び復辟實行案等に就きて商議し之れに關する決議案を作成したるも唯た張勳將軍の承諾を得る能はざる爲め最後の鐵案となるに到らざりしのみ其後政界には國會交通部互頭の大敗戰なども發生して所謂共和主義者なる上流新智識階級の

▲腐敗は極度 に達して到底救治の道なき弊害暴露されて支那を現在の危險より救濟する比較的良策は帝政を置きて他に求む可からざる事は期せずして愛國者の頭腦に沁み渡り張勳將軍の如きも終に帝政實行の已むなき事を悟りて之れに承認を與へ又共和建國の大本營なる孫逸仙氏すら支那の現狀に倦き果て「予が最初共和を主張したるは滿朝を倒し

▲民心を一新 し以て國家の大改革を圖らんが爲めにして支那を維持するの途は立憲君主の帝政を可とす」との意見に早變りせるものゝ如く唐紹儀氏も大體に於て之れに贊同を表するに至れり斯く帝制即ち立憲君主政體には南北識者皆漸く之れに贊同するに至り其他議院に於ても公平人士は支那の現情は全く絕望にて亡滅の外なし若し萬一之れを救ふの途ありとすればそは帝政恢復の一策あるのみとの意見に盡く一致し居れば該派の計畫は機運の進展と與に漸く

▲實行時代に 入りつゝあるものと云ふべく其實現は未だ今日に於て望み難きも或は今秋議員の改選に際し政府黨の多數を制する事確實なれば此時こそ帝政案なるもの、公然表現する時期ならんと（北京）

◎總督邸午餐會

長谷川總督は十九日正午より目下開催中の典獄會議出席者各覆審法院檢事長並に典獄を官邸に招待午餐の饗應あり總督府側よりは山縣政務總監、國分司法部長官、[illegible]務局長、[illegible]武官、深澤監獄課長、[illegible]秘書課長、和田秘書官等參列すべし

◎政務總監歸任

滿洲方面視察中なりし山縣政務總監は鈴木土地調査局長、藤[illegible]秘書官同道十七日午後七時三十分南大門驛著列車にて歸任す

◎米國電報制限追加

米國電報制限に下の一號を追加せられたる旨當局に通知ありしが米國官報及び外交官報には適用せずと「數字を包含する電報は之を取扱はず數量は文字を以て記載する事を要す」

◎辭令

十六日付を以て左の通り辭令あり

京城高等普通學校敎諭 三國谷三四郎
兼任朝鮮總督府編輯官 敍高等官七等
勸業模範場技師 鏡保之助
兼任朝鮮總督府農林學校敎諭 敍高等官四等
京城高等普通學校敎諭 森務三
任京城高等普通學校敎諭 敍高等官七等

◎監獄官會議（第四日）

監獄監督官會議第四日は前日に引き續き十七日午前九時より總督府第二會議室に開催、出席者前日の如く國分司法部長官統裁の下に直ちに日程に入り午前は諮問、午後は協議事項ありて午後四時閉會したり

◎赤十字議員補缺

日本赤十字社總會に於て常議員及び監事補缺選擧執行の結果左記諸氏當選の旨石黑社長より此程山縣朝鮮本部總長に宛て通牒ありたり

常議員　阪本釤之助
伯爵　清棲家教
男爵　島津久賢
監事　侯爵　德川圀順
正木勝次郎

◎宇垣少將通過

參謀本部第一部長陸軍少將宇垣一成氏は十七日朝南大門驛著發の列車にて北行滿洲に向ひたるが龍山驛には軍司令部及第十九師團武官多數南大門驛には阿部本社長等送迎したり

◎金谷大佐入京

參謀本部課長金谷大佐並に濱田兩大尉一行は十七日午前八時四十五分龍山驛著汽車にて入京、軍司令部師團司令部其他を歴訪したる上同十時總督府に長谷川總督を訪問敬意を表し更に松井少佐の案內にて昌德宮、景福宮、女子高等普通學校等を參觀午後九時四十分南大門驛發汽車にて滿洲に向ふ

◎鈴木局長歸任

滿洲方面視察中なりし臨時土地調査局長鈴木穆氏は山縣政務總監と共に十七日午後七時三十分南大門驛著汽車にて歸任す

◎榎主計監入京

[illegible]所の視察を了へ歸任の途十六日朝入京浦尾旅館に投せり、氏は十七日朝總督府を訪問市中を見物せる後午後七時五十分南大門驛發汽車にて退京歸東の途に就く

◎池田長官の消息

遞信局長官池田十三郎氏は今春來肋膜炎を疾み靜養中なるが目下相州[illegible]に轉地し頻りに靜養中にあり[illegible]したる事なきも未だ全治に至らざるため只管靜養に努めつゝありとの報あり

◎松永長官水原行

松永[illegible]は十七日勸業模範場視察のため水原へ出張せり十八日歸任の筈なり

◎和田總務課長出張

鐵道局和田總務課長は十六日京義沿線各地へ出張を命ぜられ即日出發十七日歸任せり

◎英植物學者來鮮

英國植物學者エーエッチウイルソン氏は植物研究のため十五日東京出發渡鮮の途に就く

◎觀察團入京

間島鮮人觀察團約八十名は在間島日本總領事館書記生川路省一氏並に李[illegible]部長等引率の下に十七日午後五時廿分南大門驛著汽車にて入京す

◎觀光團入京期

名古屋勸業協會主催支那朝鮮視察團一行三十名は目下支那を旅行中の處來る二十七日午後七時三十分南大門驛著二十八日滯在二十九日朝急行列車にて釜山に向ひ同夜連絡船にて歸縣の豫定なりと

◎三本理事の談

三本鐵道局理事は十六日夜歸任せり其の談に曰く今回の東上は

▲日支聯絡會議 に參列のためなりしが會議を終りて後に支那觀光團の趣旨より支那側委員諸氏と內地諸方面を觀光し再び東上し鐵道院當局と貨物の連絡輸送に關する諸種の打合せを行なひつゝ思はず滯在日數を費やし今日に至れり昨年來朝鮮に於ける滯貨の處分に就ては若干の批議を耳にせしも近來內地鐵道院の出貨は世界の活況に伴ひ未曾有の盛況を呈し沿線の滯貨五十萬噸を超ゆるの現狀にあり運輸當局に於ても限りある輸送力を以て此の激增せる出貨を如何にして輸送するかは少なからざる頭痛なるもの、如し朝鮮鐵道の

▲滿鐵委任經理 問題は新聞並に世上の評判は若干聞きたれど信ずべき筋より出でし消息は何等予は今日迄知るを得ざりき從つて該問題が今日[illegible]の程度迄進行し居るかを[illegible]其の實現の如きも全く[illegible]知せず[illegible]連絡船の[illegible]數增加の如き設備改善は內鮮間[illegible]交通并に貨物の輸送上必要なるべきも今日の如く船舶不足を告げ居りては到底問題とならざるべし

◎鑑札再交付と手數料

從來京城府にては自轉車荷大乘馬其他の鑑札を附すべきものに在りては之が紛失等に由る再交付の場合手數料を徵する事無かりしが道廳府協議會の決議を經て各種鑑札再交付の場合手數料二十錢を徵收する事になり認可申請中なりしが今回總督の認可ありたるにより府は直ちに之が實施に著手すべしと

◎朝鮮無煙超工

平南江西郡に設置

京都に本社を有する朝鮮無煙炭坑株式會社は三月二十九日京都に於て登記濟となりしが之と同時に第一回の拂込を了し引續き同支店を炭坑所在地たる平安南道江西郡[illegible]津面龍井里に設置することゝなり目下同社員十八名坑夫七十餘名は坑近の掘鑿に從事し居り一面社宅の建築工事中にして採掘炭の搬出に付ては現場より平南線岐陽驛の東方約二十町の第二鐵橋附近迄輕便鐵道を敷設し又一方岐陽驛より同鐵橋下迄引込線を敷設し一つは汽車一つは大同江の水運を利用する計畫にて昨今之れが準備に著手し居れり而して本年の採炭は主として設備費に充當する目的にて採炭量は二萬噸の見込なるが明七年度に於ては五萬噸以上の採掘をなし現物の儘大阪に輸送し同地に於て煉炭に製造すべく現場に於ては試驗的に煉炭を製造し實行狀況により朝鮮に於ても經營する計畫にて之れに要する器具器械及び技術者は近々來著すべし（平壤）

◎府條例改正

京城府にては從來府條例改正の件に就き調査審議の上認可申請中の處今般之が認可あり府は直に新條例を施すべく準備中なるが改正の要點は府特別稅條例に多く其の主要なる點は同條例第二條及び第五條の營業稅目中第二種料理店業を貸座敷業、第四條雜種稅目中第二種藝妓を娼妓として新に項目を設け第五條中自働車は一輛年稅五十圓に營業用は三十圓に定員三人乘以下の物は自家用三十圓營業用二十圓に改正し同條人力車の次に更に自働自轉車の一項を設け一輛年稅十二圓と決したり又從來一圓なりし畜犬稅は本條例改正と共に二圓と改定せらる、第六條中營業稅を賦課せざる範圍を一箇年の收入金額二百圓未滿の營業とし第十三條中人力車荷積牛馬車其他に對しては警察の檢印以外更に府の檢印を押し以て課稅の公平を維持するに努めたり之が爲め改正條例實施の日より十四日以內に自動車の所有者は其の定員數及び自用營業用の區別を又從來鑑札の交付無かりし人力車荷積牛馬車等は三十日以內に孰れも屆出を要すべく右改正稅目の內已に第一期納稅告知書を發したるものに關しては申告等の際其々更正する事と爲り居れりと云ふ要するに畜犬稅、自動自轉車稅及び檢印の押捺、自動車の定員等改正の要目と見るべし

◎朝郵新造船進水

朝鮮郵船會社にて神戸川崎造船所に註文しありたる一千二百噸級の新造船は來る二十三日進水式を擧行する由なるが會社よりは多分東上中の原田社長下神の上臨席すべし尚ほ同船は進水後艤裝に著手し來る七月末までに會社に引繼ぎを行ふべしと

◎大田溫泉會社招宴

大田溫泉株式會社にては來る二十日正午より儒城溫泉場に於て創立三周年紀念祝賀會を開き有志を招待すべし

◎電氣協會總會

朝鮮電氣協會總會は本月十九二十の兩日京城電氣會社內に於て開會に決し出席者約三十四五名にして十九日は評議員會二十日總會を開く筈

◎仁川選擧色めく

一時出馬を噂されたる河野竹之助氏は十七日午前立候補を斷念したるやにて夫れと知りたる候補者は一齊に氏の地盤と目されたる方面の運動に著手し頗る激烈を極めつゝ有り佐藤氏は絕對に出馬せざるも他の方面に於て新顏擬起し形勢頗る渾沌の狀を呈せり目下各候補共に盛んなる激戰を演じ居れる中に獨り山下南海氏は齋藤氏が[illegible]狀を發したるに過ぎざれば多少憂惧の感無きに非ざれ共氏の性格從來の閲歷等に對し私淑し居る者多く學校方面其他に比較的鞏固の地盤あるを以て當選圈に入り得る事は自他共に信じ居る處なり（仁川）

◎湖西銀行支店

株式會社湖西銀行に對し五月十四日附を以て忠南洪城郡廣川に支店設置の件總督府より認可されたり

◎手押式輕鐵認可

成興炭鑛株式會社出願に係る成興郡成興面より同道新興郡加平面長豐里に至る手押式輕便鐵道工事施行の件五月十二日附を以て其筋より認可せらる

平壤

▲平壤愛婦會員 平壤に於ける愛國婦人會員現在數は有功章佩用者六名特別會員二百二十九名通常會員四百七名なるが內地人會員六百卅三名鮮人會員卅三名なり

▲度量衡器普及狀況 平安南道地方に於ける酒類製造並に販賣業者は從來法定の度量衡器を使用するもの殆んどなく唯朝鮮在來の眞鍮製食器（俗にさばりと稱するもの）又は麥酒空瓶サイダー空瓶小形杓子類等を使用し來りたるため數量の正確を缺ぎ商取引の圓滑を阻礙すること尠なからざりしが酒稅令實施後に於ては原料買入並に製品の出入等法定度量衡器に依らざれば不都合の事多々あり昨年九月以來各府尹郡守と警察官憲と相提携して之れが普及を圖りたるため現在に於ては法定度量衡器使用者激增したり

大田

▲敎師の異動 忠淸南道に於ける恩賜產業練習所の敎師は今般大異動を見たり即ち洪城主任押切祐作氏は大田主任に、大田主任錦織廣次氏は洪城主任に、鴻山主任岸喜造氏は[illegible]主任に公州主任次席片山隈太氏は公州原蠶種製造所技手に洪城次席伊田嘉種氏は公州次席に大田次席大童儀一郎氏は洪城次席に公州原蠶種製造所技手堀江清氏は大田次席へ何も更迭せり因に元大田主任錦織廣次氏は十五日午後一時發列車にて出發多數の見送ありたり

▲蓬萊橋架設 大田學校組合附近と大田幼稚園との中間を貫流する河川には是迄橋梁なく交通不便なりしが今般土橋を新に架設する事となりたるを以て來る二十二日正午より大田協議會に於て請負工事の入札を爲す筈なるが有資格者は滿二ケ年大田居住者に限るべしと因みに同橋は蓬萊橋と命名する筈にして長さ十五間巾二間の設計なりと

▲國語普及獎勵 忠南道に於ては鮮人に國語の普及を圖る目的を以て普通學校の開設を獎勵したる結果大正五年度に於て夜學校を開設したる箇所八十二、講習生を出すこと千七百五十六人に達し頗る良好の成績を擧げたるも尚ほ遺憾の點尠からざるを以て更らに各郡に於て適當の場所に同一夜學校の新設を爲すべく其の筋より通牒ありたり

▲畦畔利用獎勵 忠南道に於ては農家の經濟を慮り水田の畦畔を利用して大豆其他の豆類栽培を獎勵し來り其成績稍々見るべきものあるも尚ほ十分の成績を收めしむべく各郡に對し其々利用指導をなすべき旨通牒を發したり

▲記念品贈呈 別項所報の如く元大田恩賜產業練習所主任敎師錦織廣次氏は今般洪城所長に轉任に付大田官民有志は氏に記念品を贈呈すべく目下其の計畫中なりと

▲道路改修進捗 大田より全北錦山に達する三等道路の改修工事中夫役に屬する工事は其後非常に進捗し既に約五分方竣成せる由

▲精米檢査要望 大田に於ける精米業は未だ大規模のものなきも昨大正五年四月より本年三月迄一ヶ年間に於て他に移出したる精米は約一萬叺なるが未だ精米檢査の機關なき爲め評價上遺憾の點あるを以て一般當業者は至急精米の檢査實施を希望し居れりと

▲甲斐署長著任 大田警察署長甲斐警視は十七日午後一時著列車にて著任の筈

人事消息

▲大池忠助氏（釜山商業會議所會頭）十七日朝入京巴城館へ
▲迫間房太郎氏（實業家）同上
▲香椎源太郎氏（朝鮮瓦斯電氣社長）同上
▲樋口虎三氏（群山電氣會社專務）同不知火へ
▲莊野三郎氏（東京實業家）同上天眞樓へ
▲加茂熊三氏（小野田セメント技師）同上
▲向坂幾三郎氏（水原模範場技師）十七日退京
▲奧田鼎造氏（代議士）同上
▲藤田循太氏（日本製紙重役）同上
▲中村辰五郎氏（[illegible]）同上
▲小林富次郎氏（小林商會主）十六日夜退京
▲三浦末吉氏（京城辯護士）十七日朝木浦へ
▲福岡縣立中學傳習館職員生徒九十名は十六日夜[illegible]名は十七日朝釜山發歸校
▲小山田淑氏（京城憲兵分隊長）十六日夜一山より歸任
▲岡部技師（農商務省）十六日夜入京巴城館へ
▲大分縣農學校職員生徒一行四十七名 十六日午後水原へ
▲李根澔子爵 [illegible]
▲[illegible]常吉氏（[illegible]）入京京城ホテルへ
▲山縣武一氏（大田警務部長）十七日午前赴任
▲大橋次郎氏（赤愛朝鮮本部主幹）赤十字愛國婦人會總會に出席の爲東上中の同氏は十六日夜歸任
▲岡田虎輔氏（專賣課技師）此の程歸任
▲砂田喜三郎氏（遞信副事務官）同上

♣朝鮮ホテルに於ける亞米利加ダンス　(右)アイレエンウーヅ孃(左)ドリーウツド孃(姉妹)

舞姬の袖 輕ろらかに

◆◆◆花の如き二人の女優胡蝶の如く舞ふ◆◆◆

逝く春の夜を惜しむ歡樂の歌 華やかな朝鮮ホテルの舞踏會

はつ夏の若葉の香りが官能を唆り立てるやうに漂つて來る

♣十六日の晚♣ 朝鮮ホテルに滯在中の米國女優ミツス、アイレエン、ウーヅ、と其の妹のドリーとの舞踏會が催された主催者はソール倶樂部のメンバー達で當夜の出席者は白耳義領事のブリゴデヤ夫妻、米國領事のウキラ夫妻、佛國領事夫妻、京城鑛業商會のデブイン夫妻スタンダード、ロンドン商會などの社員其他京城在留歐米人中の主なる紳士淑女は悉く出席して其數約三十名何れも派手に著飾り婦人連は綺羅びやかなる夜

♣夜會服美々♣ しく裝ひ九時頃からウエイテイングルームに集まつて來る九時二十分頃食堂の方から緩るやかな調子のピアノの音が滑らかに流れて來る、やがて皆んな輕いろ〱の花が薫り咲いて奇麗に粧つた花のやうな淑女達と其の美しさを競つて居る九時四十分頃足拍子で食堂に這入つて行く食堂にはゼラニームやフレチヤや躑躅やい

♣純白なる絹♣ の夜會服に眞珠の頸飾り眞珠の腕環、白のダリヤを眞珠で繋いだ髮飾りをした二人の娘達は其のお母さんの彈くピヤノの音に連れて白のオペラシユスは音もなくモザイツクの床を踏んで白百合の咲いたやうに立ち現はれた、ピヤノはホロ〱と散る花瓣の聲のやうに優しく幽かに響くに連れて二人の舞姬は雪のやうな袖を飜へして靜かに舞ひ舞ひては唄ふ『カリオン』から『グツドバイ、ボーイ』まで十九曲或は俗謠を或は

♣古典的なる♣ 歌劇の一齣を演じ又は輕妙なコミツクの舞振りに皆んなを笑はせたり非常の喝采を博し十一時頃十五分間の休憩が有つた紳士だちは皆んな酒場に這入つて舞踏の話をしながら盛んに叩る歡樂の聲が溢るゝばかりだ二人の舞妓は此間に樂屋に這入つてすつかり顏を拵へ直し今度は紫に草模樣の夜會服に著更へ髮飾りも靑木の葉を卷て以前よりも更に濃艶の度を加へた

♣歡樂の數曲♣ が歌ひ舞はれた後紳士淑女達も一緒に入り亂れて舞踏する其の內に夜食の卓が開かれ且つ歌ひ且つ飮んで酒の香と花の匂ひと搖々たるピアノの音と優い歌の聲とが入り亂れて一つの歡樂境が現出された夜は更けたが酒の廻るに連れて

♣興味は湧き♣ 上つて來るばかりだやがてサツパーがすむと又舞踏が始まるキヤメロン君やドクトルハーン君などは一番よく舞つた午前一時に至つて何れも盡きぬ歡樂の夜を惜しみながら舞踏の足取りで踊つて行つた

◉被檢擧者千餘名に達す

京都府下相樂郡に於ける木村民政田岡一派の選擧法違反檢擧は既に取調中の者千餘名に達し茶器業に差支を生ずるに至り木津署に拘引中の古川府會議員の如き悲慘なる書置を遺し自殺を圖り發見せられたる等大騷ぎを演じ居れり(大阪特電)

◉馭者一萬 同盟罷業

倫敦市に於ける乘合馬車の馭者約一萬人は同盟罷業を爲し全市の交通は非常なる不便と損害を受けつゝあり(紐育電報)

◉漂流中救はる

大分縣南海部郡米水津村當時慶南鎭海居住船夫宮原紋一(三五)は妻及び船子と三名にて二千石積みの帆船に打乘り三十日午後五時頃鰯灰三百四俵(四百圓)を積み釜山に向け航行中東萊郡沙下面太里の沖合にて颶風の爲め帆柱折れ船破沈沒し乘組員は傳馬船にて漂流中通行の漁船に救助されしが船體の損害約三百圓なりと

◉大豹二頭捕獲

平北渭原郡城南面南中洞崔俊恒外三名は豫て同洞の山上に罠を掛け置きたるに五月二日及び四日の兩日に各一頭の大豹掛りたりと

◉電車事故二件

十四日午前十時頃京城電氣會社の龍山行八十六號電車が古市町十四番地先を進行中若草町居住大工井原茂(二)が線路を橫切り左足に擦過傷を負ひたり▲十三日午後四時半頃東大門行百七號電車が鐘路四丁目を進行中乘客なる善隣洪泰成(三)が飛乘りをなし左脚膝頭外二個所に打撲傷を負へり

◉醉ふて亂暴

京城櫻井町居住淺井德之助(三十)は十三日午後三時頃泥醉し興化門內にて運動會開催中なる朝鮮煙草會社の職工の中に割込み棒を振廻して妨害をなしたるより砂利を投げつけられ頭部に三分許りの裂傷を負ひ加療中

◉飼犬に用心 狂犬を出して

莫大の損害を蒙つた飼主が多い

◆◆◆京城市中に居る飼主の有る犬と無い犬を◆◆◆合算すれば優に二千頭以上に達してゐる◆◆◆

京城では近來狂犬や咬傷犬が多く被害者から警察署に屆出れば其の都度警官獸醫立會ひの上件の犬に就いて診斷してゐる

◆其の結果 狂犬と判明すれば其の犬は撲殺し一方被害者には相當手當を施さねばならぬ、此の場合治療費は大抵其の畜犬の飼主から支給してゐる尙狂犬で無くとも咬傷の

◆手當費用 は同樣となつてゐる、飼主のない野犬は隨時施行する野犬狩りの際撲殺してゐる、夫れでも昨今氣候の陽氣加減か咬傷犬が多く每日警察署に屆出る分でも數件から多い日は

◆千件以上 に達してゐる、最近調査した京城府內の畜犬頭數は主として內地人の多い本町警察署管內が一千九十七頭、龍山憲兵分隊管內が二百八十頭、龍山警察署管內が六百十四頭合計約二千頭の飼犬がある

◆此の他に 野犬を加算すれば優に二千頭以上の犬が京城市中に居る譯である、尤も畜犬を飼養するのは強ち咎むべきことではなく大抵何等かの目的の存してゐる筈であるが、多い家には數頭も飼つてある是等は狩獵用とか

◆盜難豫防 とか夫れ〱犬を働かせてゐるやうだ京城のさる犬通の談に依れば京城では愛玩用として飼はれてゐるものが大部分を占めてゐる、是は一體に居住者の中には家に老人や幼兒等の繋累が無く單に

◆夫婦二人 限りといふ極めて氣樂な生活を營んでゐる者が多く主人の出勤不在中など犬でも飼つて置けば用心もよく氣紛れにもなるからである、其麼家庭では飼犬を恰かも子供のやうに大事に

◆愛育して ゐる、そこで昨年あたり狂犬を出して多數の咬傷治療費を支出し百圓以上の損害を蒙つた飼主もあつたさうで犬を飼ふのは惡るいと云へぬが癖のある犬や用も無いのに數頭も飼ふのは考へ物だと云つてゐる、尙

◆其筋でも 野犬の撲殺や咬傷犬の取締りは充分勵行するといふことである、因に本町警察署管內で飼犬の最も多いのは本町二丁目の百五十九頭を初めとして其附近米倉町の九十八頭本町四丁目の八十三頭旭町の七十三頭吉野町の五十七頭等で蓬萊町の如きは一丁目から四丁目迄に僅か十頭しか居ないそうだ

◉平岩原田兩博士講演

日本メソジスト教會監督平岩博士は過般原田同志社長等と相携へ支那各地傳道中の處歸途朝鮮を通過し來る二十四日入京旭町二丁目同派教會にて講演を爲し二十五日朝淺山へ向け退京の筈なり

♣オリンピツク 支那選手歸國

極東オリンピツク大會に出席したる支那選手團一行五十七名は十九日釜山上陸直ちに乘車安東縣に向ふ筈鐵道にては特別車輛を連結する由なり

◆『滿洲も近頃は至極平穩だよ』

張督軍は大局に通じた人―佐藤少將談

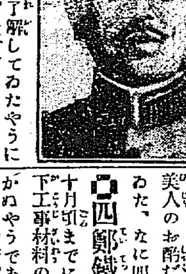
頃日滿洲から續々歸還する第十七師團の兵士は朝鮮經由二年振りの內地へ大よろこびで歸りつゝあるその中第卅三旅團長佐藤祐次少將も十六日午後七時十分の臨時列車で平壤に立寄り八時四十分まで一時間半の暇があるといふので兵士と一緒に

◘柳都の春光 を賞したのであつた、然るに少將の自動車は牡丹臺附近で俄かに進行を休止して了ひドウあせつても動かぬ事になつた、お蔭で兵隊さんの汽車は一足お先きへ失敬して了ひ少將はとう〱後の汽車で立つた少將は人も知る通り昨年

◘鄭家屯事件 で有名な人、あの時には如何でしたと訊いても只『面白かつたよ』とばかり笑つて答へず、手帖のはしに記した詩には『黎明整旅發邊營、意氣衝天征袍輕、揚策西無孤影、只聞孤陣遠嘶聲』『これはかりおや……』と萬年筆を擱く、次いで

◘滿蒙の近況 を問へば『滿洲も鄭家屯附近も頃日は極めて平穩だよ、今の向きなれば邊地の支那人には大したこともなからうと思ふ、なに奉天督軍張作霖氏か『あれでなか〱の俐好者で現下の日支關係及び

◘東亞の大局 は心得てゐる人だ自分も親しくしてゐたが先方では自分等の意思を了解してゐたやうに見ゐた、また鄭家屯附近の支那人は今日に於てはよく日本の陸軍に畏服してゐる先づ〱あの邊は都合よく行つた方と見てよかろう張督軍は日本料理には一切箸をつけぬやうだが



佐藤陸軍少將

◘日本美人の お酌ならば此の上もなく結構だと云ふてゐた、自分が奉天を立つ時もステーシヨンに見送つてくれたが今度本年の六七月頃には日本に往くつもりだから日本美人のお酌だけは是非賴むと笑つてゐた、なに四平街から奥地へ敷れる

◘四鄭鐵道か アレは本年の十月頃までに竣工の見込だつたが目下工事材料の暴騰の爲め捗々しく行かぬやうである、滿鮮鐵道の統一かこれは支那側では何か政治的意味に誤解した點がないでもない……』と滿州で失禮する。(平壤宇川生)

巨刹釋王寺(一)

谿流を渡る靑嵐

秋は紅葉に松茸狩り‖李朝太祖の手植の松‖僧の無學

松の釋王寺は秋の紅葉と松茸を以つて聞ねて居るが頃日の初夏の新綠も亦た美しい、京元線釋王寺驛を降りて十數町、屛風のやうに衝立つた雪峰山の

▽連峰を望み つゝ行けば山麓の入口からモウ滴たるばかりの深綠り、谷間一帶の老松の梢を亙つてサツと面を染むるやうな靑嵐が過ぎる、それから李朝太祖手植の松のあたり隣俗門から小鳥の聲と谿流とに沿ふて上ること十町餘、時間にして五十分ばかりの間は總て鬱蒼なる松林の間、いよ〱奥まりたる

▽山懷ろに入 ると巨刹釋王寺の大伽藍が見ゐる、釋王寺は今でこそ元山から鐵路十九哩、汽車で一時間餘りのところとなつたが十數年前までは此の寺に參詣するのは內地人にとつて生命掛けの仕事であつた、只今元山の古老に訊いても其の頃の釋王寺詣りは實に容易でなかつたと話る、それに、釋王寺は晚春陰曆四月八日の

▽釋尊降誕會 が一番賑やかである、今年も來る二十八日が其の當日で鐵道局でも臨時割引列車を運轉するさうだが此の日は實に近鄕近在數萬人の參詣者が集まる、そして萌え立つばかりの櫻の嫩葉の下で辨當を開き太皷を打ちならして樂しい山遊びの一日を過すのである、南大門から往けば百二十一哩四鎖、朝の九時卅分に立てば午後の三時五十三分に著く、驛から寺までは徒步で

▽約一時間程 である、むかし此の寺は李朝の太祖三年に建立せられたものである、即ち洪武十七年太祖李成桂がまだ安邊邑の鶴城に據つて開城の高麗朝に仕へて居た頃或る夜高家の鷄群一時に鳴き千家の砧一時に鳴り響くと夢みて不審がつてゐると傍な告ぐる者あり安邊郡の雪峰山の岩穴に朴自超と稱する者が居る、往いて聞く可しといふ其處で

▽穴住ひの朴 に訊くと貴下が王になるの瑞徵だといふ、此の朴自超は後に太祖の參謀となつた僧の無學であつて昔話歷關係から今の釋王寺といふものが出來たのである

讀者文藝(一等に五十錢 秀逸は粗品を呈す)

▽謎『電報とかけて』

○魔睡した人と解く　心は(漢字)が無い(一等)　群山商銀支店　ケーエム生

▲煙草機と解く　心は洋字(米時)は使はれぬ　京城　泉　英香野

▲文と解く　心は金炎の時使ふ　京城　多　美　郎

▲神崎與五郎詫證と解く　心は假名で書く　釜山　山本　水波

♣三人兇賊

咸南德源郡豐山面西興里崔致成(三)方へ[illegible]三名の兇賊[illegible]小刀を擬し[illegible]喝し更に[illegible]

●雹と雹降る

黃海道谷山郡[illegible]

◉猩紅熱

京城南山町二丁目二十一番地遠山愛子(七)は十二日發病十七日猩紅熱と診斷總督府醫院へ入院せるが患家及び通校中なる日出小學校も消毒せり

午前九時三十分釜山入港高麗丸[illegible]

野寄一、[illegible]子、同いよ子、木庭獎也、同はつゑ、渡邊福市、同たつよ、成田春三、同忠兵、朝日奈藤太郎、小崎いち、同かよ、牧貞次郎、永島藤次[illegible]

懸賞課題及び募集規定

●募集規程

▲用紙は端書又は[illegible]▲同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は姓名の外に住所氏名明記の事▲贈賞[illegible]

天氣　晴れ　(十七日午後六時[illegible])

商況

債券現物特電

十一日川米倉　京城電氣　朝鮮銀行　朝鮮殖産　南滿鐵道

六八、五〇	
一八二、〇〇	
一四七、三〇	

公債直取引

深川正米特電

十七日出米値　五分特別　五分新發　一回四分　二回四分　甲五分

九七、九〇	
八二、四〇	
八一、六〇	
九七、七〇	

東京期米特電

十七日現在高　朝鮮米　肥後米　內地米

一七二、九〇五	
五八、一〇九	
一六八五、七八八	

大阪株式

十七日前場　五月限　寄付　高値　安値　止め

一八、五一	
一八、七一	
一八、三九	
一八、四二	

種類	拂込	十六日後場	前場
宇治川水	五〇、〇〇		
京釜電燈	五〇、〇〇		
東洋紡績	五〇、〇〇	三八、五〇	
合同紡績	五〇、〇〇	四〇、五〇	
鐘淵紡績	二〇、〇〇		
同上新株	四〇、〇〇		
東洋精糖	五〇、〇〇		
大阪商船	五〇、〇〇		
日本郵船	五〇、〇〇		
同上新株	五〇、〇〇		
堂島米穀	五〇、〇〇		
東京株式	二五、〇〇	二五、五〇	
大阪株式	五〇、〇〇		

大阪三品特電

大阪綿糸前場十六番の入電は前シー現、七圓三十五錢九艘七圓四十錢高六四九十八錢艘八圓四十錢三銘柄七艘四十五錢綿綠糸十六手二百二十七圓及女十手百八十圓にて本日分はニ品現物相場共に未著

大阪期米特電

十七日前場　當限寄付　中限寄付　先限寄付

一七、七〇	
一八、〇一	
一八、五九	

下關期米特電

雜報

◉哈市の露貨

動搖絶えざる露貨相場は過日の衣値より稍盛り返しつゝありしが革命の餘波なりけむ去十一日より十二日迄に猛烈な下落を見れり[illegible]

政治的不安の念に驅られ

中止されし爲換取組は殆ど

空前の安値に

百八十八留に引締りたり

◉北海小豆高下

前北海道產小豆は產地更に投物出で、十六日八圓三十錢に暴落せる旨報知ありたるが本日は[illegible]

思惑筋のマバラ買ひにて九圓七十錢處となれる

◉滿洲粟躍進

滿洲粟は產地品薄を唱へつゝある折柄山東省上海朝鮮等よりの注文盛んに相場續いて昂騰せり十六日の入電は[illegible]

一躍五十錢方の突

◉白米更に値上

中卸値は十八圓二十錢にて前日午後より五十錢方引上げ

◉麥粉又高し

米國の不作と六圓臺の報に氣乘り

滿洲物亦不靡

四十錢見當は此分にては

市中賣値は三圓

◉哈市行寒天

朝鮮產は仕向け方好都合

既報哈爾賓向寒天は[illegible]

飛なるが當地も前日迄一石十二圓六十錢を唱へられしも昨朝來十三圓二十錢と躍進せり而かも前記入電相場より打算する時は一石の原價十三圓八十錢以上に當り此品米價狂騰の折柄賣行き好況にもあり眼先頗る強調なり

京城正米

朝夕相場の

京城雜穀

南大門の廻穀

仁川白米二六叺　仁川玄米三五一叺　仁川白米三五一叺　仁川玄米三三六叺　仁川大豆一一叺　東川白米二〇一叺

釜山穀物(十六日)

▲正米(三十錢高)本朝定期米は假然前場より昂騰を萬じ本朝寄付も先安十三錢との報あり[illegible]

奔騰

外の高値は五十丁內

生魚市場

仁川期米

(立會)

▲十七日前場

寄付前日止より五十錢高に

十錢と二十四錢高

更に三十五錢と新高値に沸騰

五節三十九錢と臨時暴落の入電に接し

▲三節以降休止

市場零聞

▲人氣更に沸騰す

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　海岸町三丁目　電話三〇九四九一二

⊕仲買店

仁川米豆取引所仲買人　まるにち　電話四二八二番

▲波瀾益大なり

反騰の人氣沸騰

利喰の續出と戰亊の應戰費

暴落を報ずる大阪臨時

返し移しの波瀾益大

⑩森仲買店

仁川港仲町三丁目　米豆取引所仲買人　電話店用　本宅電話

仁川米豆取引所

十七日の七月限

前場　寄付　止め

平均値段

賣買取組高

白米標準値

小賣白米

現株賣買中値

朝鮮銀行　同新株　朝鮮農工　湖南銀行　東洋拓殖　韓一銀行　朝鮮興業　朝鮮皮革　朝鮮郵船　朝鮮紡織　京城電氣　東亞煙草　同新株

[illegible]の巖龍成を圖り起し革新を以て縛り上げ證き一方家人等が此の物音に吃驚して起き出でんとするを頭より[illegible]せしが[illegible]し馬韓洞[illegible]兵分遣所に於ては時を移さず捜査を開始せり

[illegible]の降雹ありたり

連絡船上陸客 五月十六日

[illegible]

秋元家の 藏拂ひ

●總賣上高百四十七萬八千圓●

江東の天地に國技の向ふを張る秋元家藏寶入札會の競り合ひ、十四日の開札日は午前中から美術俱樂部へ集まる骨董の國の住人夥しく

□三都は勿論 名古屋、金澤、越後地方より宅なる同業者は大概顏を揃へ階上前方百廿疊の間に陣取つて策戰を凝らし此間も各先と應答の電話間斷なく漸く番の乘り來つた午後零時半頃

□注意の鐸が 響き渡ると同時に札元一同羽織袴で挨拶宜しくあつて後二個或は三個づゝ括つた種箱を廻し初める、開札場は階上奧の後にて金屏、前方にて青竹の摺手隱百疊間にして毛氈掛けた机を並べ背めしく十名の札元が尤もらしく控へて居る、聽て

□第一の箱が 上つて來たのは一時半頃で開札の結果仇英人物の卷物が二百十圓で大川、木口の連名、土佐薔扇面取合十四枚が二百五十圓で平山堂の獲る所となる、これを皮切りとして順次開札せるものは別室に在る藏主春朝氏及び主宰の朝吹、高橋兩氏に一々高價札を示して

□認可を得た 上騰上掛りが高聲にて披露する、斯くて大物の出るに隨ひ熱氣漸次加はり來る呼物の高價品は概して後廻しとしたるが午後五時頃に至つて札場より盛んな拍手の起りしは正信の虎溪三笑双幅が八萬二千圓にて戶田春海植村の

□連名に落ち たのである其以前中村の手に歸した夏珪の山水も二萬七千圓と呼び上げられた、爐々たる燈火の下大物の競爭は愈々激甚となつて當日の橫綱と呼ばれた啓書記の入景帳は實に骨董界の

□新記錄たる 十四萬圓と稱して川部、山西の連名が落した多分市内某實業家の註文であらう次位は之れも豫期の如く信實の榮華物語で價格は十一萬六千圓と呼び戶田、山中、高山中の三名に落札して藤田男爵家に納まつたらしい最も人氣の集まつて居た元信の大瀧は豫想以上

□八萬六千圓 といふ高價で春海戶田の植村の三人が落札して前記正信の虎溪三笑と共に大阪の野村德七氏の有に歸た蒔繪器具中の王と評された黑地櫻閣山水埋物入十種香具は七萬四千圓で山澄の獲る所となり三井集會所の用具となる、其次は正信の山水人物双幅で中村が六萬七千百圓に落し藤原銀次郎氏の買取といふ評判、黑地吉野山蒔繪料紙硯が五萬八千圓で林に落ちたのは船小金岸木氏の註文らしい其他にも豫想通り

□萬以上の品 が多くて僅か二百六十點の出品中唐手の茶碗、井戶の茶碗、探雪櫻閣人物卷物、信長傳來の琵琶と夫から一旦賣切つた安信の百四枚畫帖との五點が近年の拜領品だといふので親引としたにも拘らず總額は曾て前例のない百四十七萬八千圓に達した

□本願寺相場 以東鰻上りに調子附いた骨董界今日の時勢は一昨年の伊達家入札頃と比較してはそれに倍するのが當り前と豫期して居た通りになつたのである(東京)

改造を要する 家庭生活

▽中流階級の生活難は何う云ふ原因か世が進めば進む程社會生活は複雑となつて生活難の叫びは激しくなつて來る我國ではそれがその日〳〵の糧を稼いで行く

▽下流社會 よりは寧ろ中流社會に於て一層多くその叫びを聞くのは時代の趨勢で止むを得ぬ事と云つて了へば其れ迄だが靜かに我等の生活を觀照すれば確かに家庭生活の上に改造しなければならぬ多くの缺陷のある事に

▽氣が附く であらう例へば我國では來客のある度に直何とか彼とかさまざまなる名目の下に小宴會を催すが歐米の文明國では特別に招待した時の外は決して客を饗應する事は無く、又博覽會とか歌劇見物とか

▽郊外散步 とかで出掛ける時にも辨當持參で珈琲店位な處であつさりと食事をするので生活に餘分の臨時費用が省ける譯である、又た日本では何かと云へば土產物持參で訪問しなければ氣が濟まぬと云ふやうな因襲的觀念に囚はれ

▽誤られた 慣習に束縛されて結果、其爲に要らぬ金を費やす事が多いが、外國では基督降誕祭と誕生日の外は決して贈り物をしない、其の他服裝にしても日本では縞模樣が幾變、お召が何枚帶が幾筋と其數は大したもの、然も日本服だけでは

▽不充分な ので男子にすれば脊廣、モーニング、タクシード、燕尾服と樣々に持つて居なければ社會生活に不自由を感ずる事が多い殊に日本の婦人は愛嬌に乏しく社交的の氣に缺けて居て男子の來客等がある場合自由自在に客を歡待する主婦が少いため止むを得ず

▽料理屋に 行く、そして男子を樂しませる術を心得て居る藝者をして宴席を賑はす、之等の事から家庭生活、社會生活を營んで行く上に費やさ無くとも濟む餘分の金をかけて自ら

▽不安定な 生活の中に陷り生活難を痛切に訴へつゝある現狀である、これ要するに生活法が間違つてゐるからである、生活難に苦しみ藻掻きつゝある人々は是等日常の家庭生活を靜かに觀照批判して其の缺陷を補ふやうにしなければならぬ(某教育家談)

彌勒詣で △青葉の論山▽

▲敬意を表すべく▼ 社用を帶びて湖南沿線に出張して木浦よりの歸るさ、玆にも社用あつて論山驛に下車したのが彼是れ午後七時、夫れより二三の用を足して或る旅館に疲れた身を投げたのが午後十時、翌日は主なる官衙公署銀行會社紳士紳商各位に敬意を表した、ついでに灌燭寺境內に納まり返つておわします彌勒樣にも敬意を表すべく鮮人車を走らした

▲東洋第一の石佛▼ 何が扨て午後二時二分の列車で歸らうと思ふので、其の間はヤツと二時間に過ぎぬ、往復二時間を利用して後生を願はふと云ふのは『道欲だよ』と申すものがあるかも知れぬが老少不定とは云ひ乍ら、今十年二十年の間に死に度くもなし、死んだとて極樂に參らうと思ふのでもなし只單に東洋第一の石佛を拜んで置けば滿足するのである

▲春風一路蛙鳴く▼ 坦々砥の如き道を東に而かも一直線にヨボ車を走らする、見渡す限りは一面の水田、耕す男、草摘む女、餡掘る鮮童、田螺漁る小娘、何處やらに雉子が啼き、何處やらに犬が吼へ、蛙の鳴き聲が左右の田圃より起つて俳趣をそゝる、道は驛より約一里と申す、周衣の美人、炭負ふた爺を見て楊柳の村に入れば一竿の風月を樂しむ今大公望も居た

▲顏の太き好男子▼ 時は初夏、若葉薰り、青葉茂る灌燭寺の境內は心地よき程に掃除も行き屆いて居た、丹塗りの楔門は年古りたれども、參客は常に絕へぬと見えて三々伍々の詣者もあつた、何はさて兎まれ角まれ、彌勒樣に敬意を表し奉るべく、仰ぎおろがめば端麗非凡の御姿、慈悲忍辱の御顏、女にしても見まほしき美男子にておはします

▲春風秋雨一千年▼ 稼御寮御世話申さん春の徂く佛滅の後、五十六億七千萬の年を經て、衆生濟度の爲めに出現ましますと云ふなる、扨ても彌勒樣の御丈の長い事よ『史』に曰く、今を距る事九百五十年前、高麗光宗十九年、時の高僧慧明の建立する處なり云々』身長は六十尺、身體周圍三十尺、耳が馬鹿に長くて九尺、口角三尺五寸奈良の大佛に勝ること若干、蓋し東洋第一の石佛の名に耻ぢぬ

▲眞に天下の絕景▼ 腹が減つては後生願ひの騷ぎでなかつた、即ち境內の茶亭に入つて泌を呼び飯を命ずる、盃を啣んで顧すれば眞に天下の絕勝である、讀山は霞んで畫の如く、近水に陽炎燃ゑて詩の如し、亭主の指す方を望めば曰く、雞龍山、曰く魯城山、曰く何、曰く何、車夫に促がされて酒も飯もソコ〳〵に又ヨボ車上の人となる(大田支局一記者)

お札博士の 報恩俗離寺見物

スタール博士一行は既報の如く十四日夕清州着一泊の上翌十五日午前八時忠北道石丸事務官の案內にて朝鮮有數の巨刹報恩郡俗離山大法住寺に向ふ午前十一時一行を乘せたる自動車報恩邑に到着するや同地官民有志の出迎へを受け晝食後郡廳職員の旋にて鮮馬に跨り同地より三里の道を俗離山に向ひ同四時著小憩後博士は大法住寺境內に存在の建築物佛像寶物等に就て調查したり同寺は朝鮮有數の古刹として遺跡寶物甚だ多く商さ約一丈の石燈籠二基商さ約七尺直徑六尺餘の石香爐一基直徑約一丈深さ四尺餘の大鐵釜長さ十四尺横六尺深さ三尺五寸の石槽二個直徑六尺深さ一丈二三尺の石甕一瓶本堂前ノ上段等は何れも新羅朝の遺物にて就中し其他橫二十三尺縱四十七尺の盧舍那佛立像の大掛軸大鐘佛像四天王等一々熟覽の上夕食後住僧に就き記錄の調查を行ひ翌十六日朝四天王和羅頭の石彫佛像本堂の佛像等を撮影して歸路に就き午後四時過ぎ淸州着報心川の石槃察署構內の銅幢及び市公園上にある石佛を視察し一泊の上十七日朝京城に向ひたり案內者石丸事務官は流暢なる英語を以て一々丁寧に說明の勞を取りたるより同博士は大に滿足し遺外の調查材を得たるを喜び居たり(滿州)

釜山の逐鹿界

未だ下火なれど何れ競走激甚か

釜山學校組合議員改選の時日追々迫し來るに拘はらず候補者とし未だ名乘りを揚ぐるものなき狀態に在る裏面は旧態陣立を整へつゝある旨は既報の如くなるが此程釜山商業會議所に於て同新議員及び實業家諸氏會合し道般の組合議員選擧に關し內密協議を爲したる趣なるが同會合にては未だ候補者の割當等に就きて協議を遂ぐる能はざりしも過日來自から議員候補者と名乘る如何はしき人物あり彼れ等の如き常識に缺ぐる者を萬一選出するが如きことあらば釜山市民の面目に關するのみならず彼等と共に市民より依賴を受けたる組合の議決權を代用するは忍びざるを以て相當階級を有する選出議員も自然辭任することゝあるべきのみあらず悔度を招くべきに付き機を見て市督官廳及び學校職員に對しても戒飭すべく言合を爲したりと見ければ猶時々に至りて漸く旗色の顯れんとしつゝあるは豊筑人よりは香椎源太郎、堤貞之兩氏を推すべく而部よりは磯村武經、福永良之助兩氏在任、村上元三郎氏等に投票すべく內々協議中なりと前議員伊藤祐義氏は釜尾組合及び防長人よりは伊藤氏に移り同氏は府吏員たる位置にあるを以て被選擧を行使することは能はず卓樂よりは石原源次郎氏を推すべく牧の島は前議員河內山氏再選辭退を爲すに於ては野方源次郎氏の外適當の人物なしとて同地人は既に決定せる如く釜山鎭は加藤某氏を推すべく協議中なりと云へども何れも未だ確定したるものにあらず市民の意嚮は可成前議員の再選を希望し居れる如くなるも新規に野心を抱く者少からざる模樣なるを以て本期の選擧には激烈なる競爭を見るべしと觀測せらる(釜山)

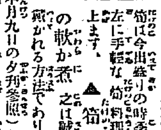
消防義會講演

十九日午後一時より京城鍾路警察署樓上に於て京城消防義會研究部會を開催したる講演あるべしと

爆發性危險物と其取扱(中央試驗所技師兼京城工業專門學校教授理學士徳國理學博士今井明氏)自動火災報知機の實驗(日の出小學校訓導山形甚之助氏)

成田校長歸京

京城高等女學校長成田忠良氏は病氣靜養の爲め歸鄉中の處十六日夜南大門驛著列車にて歸京せり



筍は今が出盛りの時季ですから左に手輕な筍料理二種を申し上ます

▲筍と昆布の軟か煮 之は誠に軟かに煮れる方法であります筍は(木の芽の方は本月九日の夕刊參照)を適宜の大きさに切り昆布も五六分の程よい大きさに切り共に鍋に入れ煮汁をひたゝる位加へ文火にかけ斜長に煮まして軟かになつた頃醬油と砂糖で味をつけます

▲筍のひこずり 之は又風變りの煮方です筍を薄く少さく切り油を引いた鍋に入れ火にかけて炒めました所へ酒と砂糖とを加へ良く炒める樣に致しましてから揃つた味噌を加へ搔き交ぜながら暫く煮込みます

法人登記公告

麻田地方金融組合登記事項中左ノ通變更ス

一、大正六年五月四日漣川郡百鶴面九尾里柳哲永組合長ニ就任

一、組合長柳哲永ハ大正六年五月七日死亡

一、目的ニ左ノ一項ヲ加フ

組合加入ノ豫約ヲ爲シタル者ノ爲ニ出資壹口ノ金額ニ達スル迄組合員ニアラサル者ノ預リ金ヲ爲ス事

右大正六年五月拾五日登記

京城地方法院 漣川出張所

商業登記公告

一 二興業株式會社取締役藤井寛太郎、金澤仁兵衛、中村清藏、高田義丸、川上佐太郎ハ各任期滿了ノ處大正六年四月貳拾八日重任シタリ

右大正六年五月拾壹日登記

一 支配人朱學鎮支配人朱聲玉ハ大正六年四月貳拾壹日死亡ニ因リ代理權消滅ス

一 支配人選任

支配人氏名 朱聲玉 住所 京城府中林洞 支配人ヲ置キタル場所 京城府通[illegible]番地

右大正六年五月拾六日登記

京城地方法院

ドクトル女醫 中村齒科醫院

京城本町三ノ九 電一五八三番

電話二四八番開通

京城本町一丁目 佐藤牧商店 電話二一九番

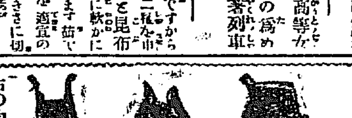
軍隊拂下被服類 特別廉價販賣

夏物 メリヤス。シャツ サルマタ。ズボン下 雜貨卸商 京城北米倉町電一一二二番 村上商店

給仕女入用

年齡十五六歳より二十歳位迄(但し月收二十四五圓あり)希望の者は電話一二三番に照會の上本人來談あれ

最も信用ある 東京三金の靴



ボックス革製編上 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢

ボックス革製變型 第一號 金貳圓九拾錢 第二號 金參圓九拾錢 第三號 金四圓九拾錢

ボックス革製深ゴム 第一號 金參圓五拾錢 第二號 金四圓五拾錢 第三號 金五圓五拾錢

ボックス製長靴 半長 金五圓五拾錢 本長 金六圓也

右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造しあれば一般實用紳士靴として好適なり御注文の節は靴種類と足袋の文數御通知次第代金引換小包(送料實費)にて送附す

最新目錄無代進呈 東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝六九〇番 振替東京一七一二三番

模範的懷中良藥 守田寶丹

一匙二匙服用せば萬病未發に防れ

▲家庭も樂しく ▲旅行は愉快に ▲執務の際は頭腦明敏

寶丹 定價(金十錢 二十錢 三十錢)(五十錢 一圓)

寶丹錠 十二世 守田治兵衛 東京下谷池之端仲町廿七 振替東京二九八五 (各藥店にあり)

一番よくきく ‖疲れた時‖ ‖ホッとした時‖ ‖氣分の惡い其時に‖

頭痛 眩暈の起り易い新綠期

▲船車酒の醉 ▲氣欝 ▲胸痛 ▲食傷 ▲腹痛 ▲消化不良 ▲溜飮 ▲水傷 ▲下痢 ▲吐瀉 ▲過飮過食

起死回生 寶丹

內科 小兒科 婦人科 眼科

京城南山町二ノ四六(三越合宿所上) 二元堂醫院 電話一壹二四番 小山

▼本年の 東洋パナマ▲ (特許第二一八二九號)

本品は 本品は弊社發明の特許品にて本パナマに優る內國製のパナマに御座候

品質本位 本品は特殊の原料と精巧なる編製法とに依り製作せるを以て品位實質の優秀なるは今更多言を要せず世に定論ありて博く天下の好評を辱うせるは弊社の光榮とする處に御座候

需要激增 斯く內外の名聲を博せしより內地輸出共近年賣高頓に增加し從而生產費低減するに至れるは弊社の深謝する處に御座候

値段恰好 販賣數增加に依つて生產費低減の折柄更に經費に節約を加へ兩々相待つて一層優良品を恰好の價にて御需應ずる事に致候若し弊社の微衷御諒察を得ば幸甚に候

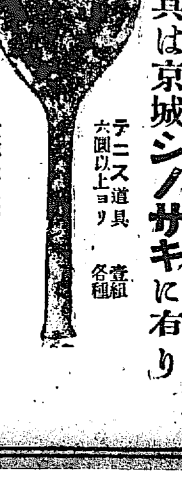
類似品 東洋パナマに類似するパナマ帽あり其品質粗惡にて一見奇麗なるも使用忽ち形狀崩れ雨露に逢へば黴を生ず併かも眞の東洋パナマと類似品を混同する向あり又之を惡用する奸商あり油斷大敵に候

僞物掃蕩 近來東洋パナマの特許等の名稱を害中には無益なる特許權侵害者あり權威あるもの如く言做し世人を瞞着する奸商ありて弊社は止むなく既に夫々法律上の處分を採れり則ち此頃東京の新聞記事は其一例にて今後繼續實行の上僞物掃蕩の決心に候

東洋パナマは帽子の內部に必ず上掲の商標貼付しあり此商標なきものは何人が辯するも東洋パナマにあらず類似品なり御注意願上候

東洋パナマ製造元 日本夏帽株式會社 東京市外大井町

運動用具は京城シノサキに有り



テニス道具 六圓以上ヨリ 壹組各種

京城本町二丁目 篠崎運動用具店

各種萬年筆即時修繕

京城旭町二ノ六 東京パイン萬年筆出張所

コークス値上廣告

コークス 御賣噸貳共に付き二圓値上 叺賣壹俵 七拾五錢

右の通り五月十八日より値上致候間以紙上謹告仕候

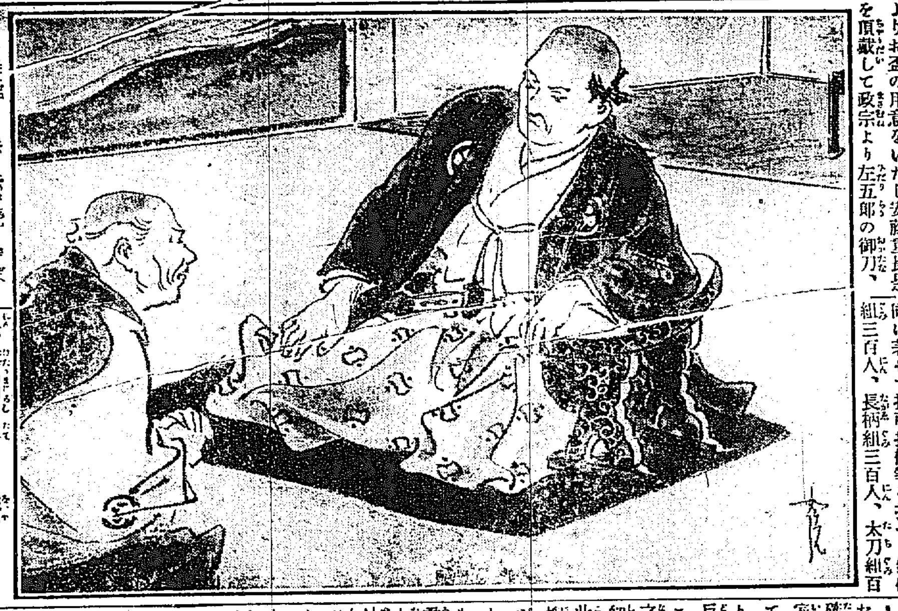
京城瓦斯コークス一手販賣 京城長谷川町五十八番地 京城電氣株式會社產出 同用器具販賣 南豐商會 電話一九二六番

[illegible]

明君道中記

第百四十八席 田邊南龍口演

伊達政宗は安藤重長の一言を聞いて莞爾と笑ひ、政『イヤ何うも見立たり彦左衛門、又見立られたり右京進、城内の使然う無うてはならん、不肖政宗の武勇を慕ひ當家を力として城內への上使を勸めるとあるなれば當家の人數を以て後詰をいたして遣はす、心丈夫に入城いたして上野介を說くやうにいたせ、コレ盃の用意をいたして重長に遣はせ』と直にそれより盃の用意をいたし安藤重長是を頂戴して政宗より左五郎の御刀、御子息忠宗より藤四郎義光の差副を下し置かれました、總て物は云い樣でございます、御當家の御威勢を借り御同勢を力として城內へ參りますから何分お助け下さいと煽動たのでございますが心地が快い、當家の人數を以て後詰を致す故充分に遣と云はれましたが重長の胸中は然では無い第一事が間違て愈戰爭にでもなる場合には自分の家來は廿人に足らぬ者故皆な命を捨る、自分は見立られて斯る役を勸める故命を捨るは覺悟の上、然し家來に過ちのない樣にと思ひ、就ては仙臺の同勢を三千人も借りて戰をし勝ては自分の功になる、負ければ仙臺の恥辱、兵糧人數を損するは伊達の聟子だと、他人の犢鼻褌で角力を取る樣な譯で、却々何うして重長は狡猾に立廻つて居る、賴みやうが宜い、お前でなければならないから何うか一ツお願ひ申すといふので、政宗親子の承諾を受けて重長が直樣支度に及んで城內へ乘込みました、一方では伊達政宗が片倉小十郎、伊達安房、伊達彈正等へ仰付られて人數は皆兵器を隱して居りまして普通の供廻りでございましたが假の御沙汰によつて半具足なぞを一同に著せて持弓持槍等を持せ、鐵砲組三百人、長柄組三百人、太刀組百人、旗馬印を立るのは穩かでございませんから、小印といふ仙臺の印の付いて居ります幟を立て餘所ながら安藤重長の前後を警備して城內へ乘込みました、お話し分れて此方は本多上野介、盃を擧げて大醉いたして居る處へ ○『申し上げます 上『何じや ○『川村籾負お目通りを願ひ度旨にて罷出ました 上『籾負か、苦しうない此へ通せ ○『ハツ』と若侍が引取る、入れ代つて襖を開いて立出ましたる籾負、謹んで頭を低げる、上『籾負近う進め、改めて目通りいたし度、趣何用じや 籾『お人拂ひを願ひます 上『密談か 籾『御意にございます 上『コレ一同遠慮いたせ』若侍は心得て次ぎへ退る、籾を殘す、開け切り何人も聞く事の出來ぬ樣にいたし 上『籾負近う、何事じや申せ』籾『恐れながら暗に罪する者は天是を罰し、明かに罪する者は人是を罰すとやら、豫ての陰謀最早露顯仕りました、能く〳〵御勘考なくては相成りません 上『何に陰謀露顯をいたしたと 籾『左樣にございます、上『何故左樣なことを申すか、事改ためて陰謀露顯いたしたと申すには確な證據あつてか 籾『左れば此の度家光公既に石橋宿まで御出でになつて御城內へお乘り込みになるばかり、然るに俄に同勢は色めき俄に江戶表へ御歸城に相成りしは、陰謀のことを御承知あつてのことに相違無之 上『イヤ〳〵城內のことは誰一人知る者無く露顯いたす譯が無い、猶此の普請をいたしたる大工は何れも桝の井戶へ斬込み、例へ我家來と雖も是を知る者は其方始め腹臣の者僅か三十人程なれば左樣に心配せずとも宜い、心穩かにいたせ 籾『是は主君のお言葉とも存じません、城內の大事露顯いたす氣遣ひは無いとは御油斷千萬、既に今日江戶表より安藤重長御上使として罷越したるは是取りも直さず主君を召捕らんが爲めなり』と籾負は滿面朱を濺ぎ膝を進めました。



花柳病 皮膚病 須古醫院 京城府永樂町一、商品陳列舘通坂の上 電話二一〇二番

入院隨意 胃腸病院 京城南大門通二丁目七番地(漢湖農工銀行前) 電話一六五九番 院主 佐々木杏造

演藝案內

京城壽町 壽座 電話五七八番 大坂歌舞伎中村梅昇一行 十八日替り藝題 ▲前 難波戰記 ▲切 三十三所壺坂上下 ▲櫓昇十八番の雁九郎 淨市早變りにて相勤め可申候 一等六十錢、二等四十錢、三等三十錢、四等十五錢

御成町 御成座 電一九一 ▲新派聯劇 排天香子 中村正男刑事の苦心 ▲柳生漫遊記 新派講談師神田白龍門人 神田忠男出演 ▲豐臣出世鑑(浪花節) 廣澤菊榮出演

曆

五月十九日 九星 舊三月廿八日 辛酉 本命七赤 酉 取 先勝

▲七赤● 口五月蠅き事有る日 對手見合作力は吉 商談凶 ▲八白● 福運の日 轉居入學金什名弘求職結婚調製職業等萬吉 ▲九紫● 氣勝さ事有る日 業務手控作事は吉 女子は行儀を守らるべし ▲一白● 順利の日 轉居旅行入學名弘家作求職金什婚姻養子女を定る等萬吉 ▲二黑● 親和なる日 轉居行商金融探求職婚姻教育業等萬吉 ▲三碧● 欺瞞主義の事ある日 新事手控貸事は吉 買物に用心せらるべし ▲四綠● 平運の日 物の下賜なども吉 新事手控貸事は妨なし ▲五黃● 滿なる日 不圖立身出世運に出づ 旅逃で利有 女子は一入よき事有 ▲六白● 腕押のきく日 轉居求職出漁名弘金件製造婚禮船舶業等皆吉

活動寫眞

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店 黃金館 電話二六三七 六五二 五月十六日より新派大提供 天活會社本月の新撮影 故川上音次郎先生立案、故藤澤淺二郎先生脚色 村田正夫一派大車輪 明治九年西南役前の出來事 ダンナヲイケナイ、ヲタシヲテキヅ ▲史劇神風連 全二十七場 明治九年熊本に神風連なる一群あり文明軍に對する其當時神風連の爲不遇の戰死を遂げたる種田陸軍少將の遺を恩顧を受け藝妓小かつが仇討せると云ふ美談 ▲社會劇船上の大秘密 原名地海の難波船 和蘭アムステルダム會社大傑作 ▲笑劇呪の名 全五卷 說明 丸山南市、小田鵠風、櫻田春曉 米國ユニヴアーサル會社作 抱腹絕倒 世に稀なる說明と相俟つ お笑ひくださいまし 大活會社撮影本月淺草大勝館にて封切せる 江見水蔭氏原作 不知親不命より 脚色 澤村四郎五郎一派大活躍 ▲舊劇馬追太郞助 全三卷 身は箱根山中に捨てられたる關守役人有田源十郞に救はれ長ずるに及び馬追の傍ら劍道を學び百十八ヶ村の百姓の爲め水門破りを爲して一時姿を忍びし大恩なる養父に邂逅再び歸國して義の爲め仇討す 天活會社獨特の新撮影 豪寶は比無比 寫眞長尺に付正午後六時二十分映寫仕候

東京小林商會滿鮮一手代理店 米國ユニヴアーサル會社特約 早川演藝部經營 有樂館 電話(階上)四九七番(階下)二〇五番 ▲五月十八日より特選映畫提供 ○實寫伊太利の古跡 ○喜劇ビル君とトランク 米國ブラニ會社傑作品 ◎泰西人情劇『ロッキー嵐』全三卷 ... ◎新派社界劇『廻る運命』全三卷 ... ▲餘興 大好評のルーブ嬢の喜劇ダンス 今週より壽館に入れます ●無言喜劇『諸家の紛士』全二卷 天活會社で御馴染の名優市川莚十郞 市川吉三郞 合同大奮鬪 日本三大仇討の第一 元祿時代の大史劇 ●曾我物語(全八卷百二十場) 曾我兄弟の赤誠

連日滿員に付 十八日迄日延べ 大好評 大正館

日本活動寫眞株式會社特約常設館 櫻井町 大正館 電話八七三 十一日より引續き特別興行 見よ破天荒の此の四大寫眞を！ ○軍事活劇第十一 快漢ロロー 內第十八編上場 ○舊劇島津三小天狗忍術五郞 全五卷 △米國キーストン會社喜劇最近大傑作 △日活東京派 立花貞二郞 秋月邦武一派出演 大阪每日新聞連載小說 菊池幽芳氏作 ○家庭劇『毒草』全六卷 ▲本興行中入場料 一等四十錢 二等廿錢 三等十五錢 ▲五時半より ...

金玉 きんたまのはれ だつちよう病 こうがんゑん病 にて困難の方は二錢封入申込あれ 特効ある良藥を知らす 兵庫縣明石町相生町 藤井源四郞

百圓進呈 りん病 ばいどく病 淋病藥主藥は治淋劑として梅毒藥主藥は驅梅內服藥として醫藥學上最有効と確定し帝國醫科大學病院等に於て常備配劑せる高貴藥たることを保證す若し前述の證言に違ふる事を發見せる時は分析料として百圓進呈 ▽あらゆる治療を試みるも効なき患者先に第一度來談あれ にせ物あり 大阪有田 京城南大門外停車場通 大阪ドラッグ商會 京城支部 釜山大廳町二丁目 元山本町三丁目 他の藥店に販賣を不許 京城 南大門外停車場通 大阪ドラッグ

蛇印 ハンチヒリン丸 かぜ ねつ 最良藥 早く治る藥 よくキク藥 ●さむけ出て發熱し、頭痛し手足だるく、水ばな出る時は本劑を服せば不思議の効あり(每十錢、十五錢、廿五錢) 本舖 大阪 東京

周易 介石堂 明治町二丁目 岡村介石

子宮病 血の道と せんきりウマチスに 腦も人は 直ぐ試せ 面白い程よくきく

桑種子すぐ注文せられよ 皆桑 普通種子特價壹舛三圓七十錢 注意 前金は送費不要代金引換は送料申受く 壹舛以下注文は御斷り 攝津南川邊郡山本村 種苗問屋 坂上產樹園 振替大阪一九三貳壹番

營業品目 肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地牛、細工用蹄角各種膠及膠原料 石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼 牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達 京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番 京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四 電話九七三番 振替口座京城〇〇四番

健通丸 心地よく通じクセにならぬ 本舖 大阪北濱 參天堂藥房 ●十錢廿錢五十錢 有名なる各藥店に有 健通丸は腹を痛めず。心地よく通じくせにならぬ最良下劑なり

醇良清酒 仁川本町三丁目 檜本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

朝鮮語會話 第四版 朝鮮總督府屬 普成法律商業學校講師 西村眞太郞著 定價金八拾錢 郵稅四錢 受驗者必携の資料 袖珍總クロース四百餘頁附美本 本書は第一版に於て動詞、形容詞の大增補を行ひ頗る好評を博し偉大なる賣行を示したり、次で第二版は瞬く裏に賣盡したるを以て、茲に更に大々的增補を斷行し、副詞の適譯百種及最近試驗問題解答等を載せて愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ 賣捌所 京城日報社代理部 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 取次所 大阪屋號、巖松堂、京日各支局

商標 ペイント、ボイルド油 テレメンン油、クレオソート ベンゾール、コールター ピッチ ●薄利を以て販賣致居候間直段御照會被下度候 大阪市西區立賣堀南通四丁目 ペイント塗料製造 八木商店

久留米絣 洗ッテモハゲヌ上品ナル實用品

久留米絣 くるめかすり 絣の商標は井上お傳印に限ります(見本進呈) 縞の商標は天狗印に限ります 登錄商標 本社發賣の絣縞は各地到る處の呉服店にあり 御遠隔の地にて御不便の御方は男女別並に御年齡御申越次第代金引替小包にて御送します 久留米市通町 國武合名會社

本場 久留米縞 皆樣方の上品なる夏の御召用として本品に限ります 地質堅牢 着心地のよい實用品は本品に限ります 全國到ル處ノ呉服店ニアリ 久留米縞同業組合

攝津灘 大塚釀造所吟製 金露 賣元 京城本町二丁目 前田酒店 電話一三七番 振替口座四二五番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一四番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

汽車 京釜線 湖南線 京元線 南行 北行 [illegible]

京城日報

第三版

五月十八日 (夕刊と合せて八頁)

大阪三品特電

十七日後場 ……

下關町米特電

十七日後場 ……

後場も休會

現物 ……

日鮮滿統一論(二)

京城日報

歴史上に於ける日鮮滿の關係(上)

更に東亞の古史に溯りて之を論ずれば、日鮮滿の聯絡し、統一せざる可からざる總發は一層明白也。

韓國原有の歴史は勿論、韓國の史家も亦鴨綠江を以て天塹と爲し、長白山を以て天險と爲し、勉めて其の外側を暗黑に附し去り、三韓時代の半島背面外側線を決定すべき古高勾麗の本土卒本夫餘城を大同江の上流より稍や東北に在る成川郡車衣津と妄斷し、大同江を掩利大水と爲し、之を以て漢武四郡と古三韓との古境界と爲し、爾來約二千年に渉る史實を大同江以南の地理に引當て之を改竄せるものは、畢竟韓國史家が事大的主義に囚はれたる結果なるべしと雖も、他の一面より云へば、韓國史家が羅國的歴史の本源を究めざるの致す所たらざる可からず。彼の新羅王朝の三韓統一時代に於てすら、大同江の西岸、並に咸鏡道より滿洲に跨れる古高勾麗の全版圖は、擧て渤海王國の領有に歸し、渤海國亡びて遼帝國興り、遼滅びて金帝國之に據り、北宋の徽宗帝を捕虜とせし時の如き之を咸鏡道甫乙丁鎭山城に幽し、金倒れて此の版圖、元帝國に歸し、元の社稷墟と爲るに及び、始めて韓國に歸したるものなるが故に、平安、咸鏡兩道の如き入道内と雖も、韓國史家が、古代の史的智識に乏しきは、深く怪むに足らず。而かも況んや其の外側たる滿洲古來の舊史に於ておや。韓半島の人民及び日本人の多くは後世の改竄史筆を盲信し、古三韓時代、馬韓古王國、新羅、任那諸王國の本源的歴史を推明するもの少なかりしと雖も、三十七八年の役、皇軍滿洲の平原に縱横し、實際に滿鮮の地理を跋渉したると、二千餘年來湮晦に歸し、古高麗好大王古碑の發見及び盤石嶺の山路に於て發掘したる魏の毋丘儉が丸都山紀功碑の破片とに由りて、滿州本土と韓半島との間に横はれる古史上の暗黑面は、明々了々として眼前に呈露し來り、古の丸都城は今の懷仁縣にして、忽本東岡は洞溝たり。沸流水は富爾江にして成川にあらず。淹利大水は、鴨綠江にして、大同江にあらず。即ち高勾麗の創業者が渾江、鴨綠江谷の要衝に據り、子孫相繼ぎ、二百餘年、遼河平原に雄飛し、漢人を威壓したるものは、此の四塞の天險を利用し、遠く富庶の野を控制したるが爲にして、高勾麗本土の位置が、懷仁方面なりしこと、今や疑ふ可からざるに至りし也。

前漢中葉以後、高勾麗が鴨綠江山地に勃興し、扶餘を北韓に驅逐し、百濟に南韓を擊退し、古三韓七十餘國の平和を攪亂するに及び、人種的動搖の餘波は、南韓日本植民地方に及び、茲に新羅、任那等の諸王國、交も崛起して辨辰諸韓國の衝勢力に代り、即ち西北には鴨綠江山地に高勾麗あり、中央には漢江南岸に百濟あり、南方には新羅、大伽羅、任那等新に興り、古三韓の色彩殆と掩ひ去らるゝに至る、韓史普通の意義に於て、是より以後を上古期と爲す。此時代に方り、我が日本が直接に韓半島諸王國に干渉して其の威力を示し、仲哀天皇の征韓計畫と爲り、神功皇后、其の豫定の作戰を遂行したる偉績は、我が國史、及び日本民族の古傳說に充滿し、匹夫匹婦も之を知らざるものなきに拘らず、現存韓史に就て、之が對象を求めんと欲するも、一字も之に似たる事件を傳へず、現代鮮人の大多數を擧て、太古以來、固有の日本藩屬史を知るものなきは、改造韓史の罪なりと雖も、抑も亦遺憾の至りならずや。

間島視察團を迎へて

予と奇しき因緣がある

子爵 趙重應氏談

朝鮮と間島との關係は隨分古い事で今より五十年前から間島移住は行はれて居たのである、併し朝鮮の古い法律では、國境外に移住する者は斬罪に處せられたから、間島移住は素より隱密裡に行はれて居たのであるが、今を去る三十五年前彼の魚允中が經略使に任せられ、予も亦邊境視察員として彼の地に赴いた事がある、當時魚允中は大陸發展策として國禁を解き、觀察使と郡守とに訓令を發して、間島移住は宜しく之を保護勸奬すべしと命じた、魚允中には確乎たる胸算があつたが、當時政府に於ける彼の反對派は、魚允中の此の措置を以て國を誤まるものなりとし、遂に經略使を免黜し予も流刑に處せられた、而して當時の反對派は魚の抱懷せる政策を支那に密告したので、間島問題に就き支那朝鮮間に種々面倒なる事件が起り、朝鮮の勢力は漸く間島より消去らんとし、移住民は孤立無援の狀態に陷つた、是に於て當時の政府は按撫使を置き、人民撫育の事に腐らしめたが、到底支那人の勢力に抗すべくも非ずして若干の年月を經過した、斯樣な關係で予と間島とは奇しき因緣が有るのであるが、此度間島に於る朝鮮人の有力者が視察團を組織して入京したのは、種々の點に於て甚だ喜ぶべき事である、而して先般宇佐美長官が遙々間島に出張され、具さに其人情風俗を視察されたのは、彼の地に在る朝鮮人は無上の光榮として感謝したる由に聞くが尤な事である、未だ一度として大官を迎へた事の無い土地であるから嘸喜んだであらう、其れ故宇佐美長官の間島視察は、彼等の感情を融和したこと夥しい、されば近回視察團組織の計劃は長官を迎へた事に依つて大に進捗し、我等は茲に珍らしい視察團を迎へる事となつたのである、視察團員は間島在住朝鮮人の有力者であるから、此機會に於て彼等の頑迷固陋なる思想を融和し之を善導する樣にしたいものだ、間島に於ける朝鮮人は一部の爲にする者のために利用せられ、朝鮮は日本と併合して以來、昔に比し大に變惡ろく成つたと說聽かせらるれば直ちに其れを信じて了ふ者が多い、言はゞ甚だ愚直であるから之を利導するに於ては、其の懷き居る誤解は雲散霧消するは當然である、そこで視察團の入京を機とし、予は極力日韓併合の事は宇内の大勢に照して、避く可からざる所以を懇々說聽かせやうと思ふて居る、即ち日鮮一致團結してこそ、外列强に對抗し得る所以を說いて、彼等を悟らしめたい、又視察團が親しく朝鮮統治の現狀を目擊したらんには如何の感が起らう、百聞一見に如かず、事實は百の辯に勝るのであるから、日本帝國の公明正大なる統治振を實見しては何れ唯々驚嘆するの外はあるまい、何れにしても茲に間島視察團を迎へる事は甚だ愉快である。

遊支所感

(十六) 長江筋に於ける列國の勢力

漢城銀行專務 韓相龍氏談

△英國の勢力 歐米人にして東洋に勢力を扶植せんとするに當りては必ず支那を以て中心と爲し、而も其の必須の地として長江沿岸をトするが故に、同地に對する外人の注目は日に繁く月に邁なきは當然の次第なりと謂ふ可し、就中英國は率先同地を開港せしめたる爲め、諸般の施設遠大の計畫亦た夙に列國を摧き、有ゆる方面に於て大勢力を扶植せり、即ち沿岸一帶の稅關は之を自國人の監督下に置き、附近の鐵道まで英人に依りて投資せらるゝは勿論沿岸各港に於ける電車、水道、工業、海運、貿易、金融等殆ど同國人の操縱に依らざるものなき狀況にして、同地方在住の外人は其の數二萬を越へ上海のみを以てするも一萬三千を算せるが其の内英人約三千八百を占め居れり

△秘密の會社 漢口には英人の經營に係るインターナショナル、エキスポート、カンパニーあり、同社は非常の大工場を有して盛に某々物品の製造に努め時々一萬噸以上の汽船を工場附近に横著け巨額の物品を搬出搭載するを見る、其の製品は一切秘密に附し居れるを以て之を知悉するに由なきも各方面より牛、豚、鷄、鷄卵等を購入し居れるに徵せば同社は恐らく食糧品を製造し、之を滿洲若くは英本國に輸送するものなる可しと思惟せらる、進英同社の發展は實に驚く可きものにして僅々四五年間に於て從來に比し七八倍に膨脹を告げ、今や其の分工場を南京に設置せるが同工場の製造力は却て本工場を凌ぐの能力を有せりといふ

△市街の經營 又た市街の布き各港とも英國租界最も優勝地を占め、稅關及び商業中心地は殆ど之を斯界内に包有し且つ廣大の規模下に完備の施設を以て經營し居れるが故に列國は素より日本に於ても大商業の機關即ち銀行、會社、工場等何れも其の租界内に設立さるゝの狀勢に在り、而して南支方面に於ては上大官巨商より下列車のボーイに至るまで盛に英語を操ること恰も自國語の如く各自之が巧妙さを誇り居れり以て同方面に對する英人の勢力の如何に偉大なるものあるかを推知し得べし

南洋見物

(18) 妓樓の寄生蟲退治(上)

淺岡 重喜(投)

大正三年の春頃迄は、新嘉坡は云ふ迄もなく馬來半島の田舍に入れば入る程、妓樓に寄生する男の勢力は旺盛であつた、熾烈であつた、朝夕街頭に闊步する者、郊外に自動車を走らす者、常に金鎖を卷き付け指環に寶石を光らせつゝ汽車や汽船の一等室にフン反り返るもの、セカ〳〵の柔か物を、襟に着流し、表付きの下駄を引摺りつゝ大道を濶步するもの、皆是れ妓樓の寄生蟲であつた、紳士であつた、自ら紳士を氣取つて來て、八重の潮路を渡り來た大和撫子の、血を吸り、肉を〆シヤブル輩であつた。

彼等は横濱や、神戸、門司、長崎、上海、香港等のイカサマ旅館や、無賴漢と結託して、世間知らずの田舍娘を誘拐するが唯一の仕事であつた、偶に護謨園を開き、又は小なる店舖をなするも、生活の基本は妓樓になつて、收益の途は一に若き女の肉より出でたのであつた。英領の法規は、男子の女郎屋營業を禁止してある故、表面のみならず、裏面に於ける關係さへも、許してない、犯すものは嚴に處罰せらるゝ之は頗る寄り集い狹く承知であつた、然れども邦人の地位尙ほ向上せず、土人をして日本人とし云へば、直に娼婦を聯想せしめ、男も女も、誰も彼も金錢の土隷視し、帝國領事を、アニシヤマ、トアンと呼びたる時代は、妓樓に男子の寄生するを已むを得ず看過したのである、彼等も怖るくツイ改め當局の寬大に狎れて終に世に跋扈するに至つた

二三年以來無垢の邦人が追々と渡航し、大商人銀行等の支店は設立され護謨園の栽培に從事する眞面目な人が多數に出來、土人や支那人政治に對する樣になり、邦人の地位は向上した、而し商工人なしても、農業にも、邦人の勢力は發展した、邦人男子の諸てが女郎屋のアニシヤマと思はしむるは、眞面目なる邦人活動の支障となる、職業的輕侮の念を彼等土人の頭より一掃するの必要は焦眉の急となつて來た

口報詩壇

○春日山寺　　　　戶田 六園

山寺入門唯鳥音。廢碩殘碣有誰尋。石階花落佛無語。荒徑離離春草深。

評曰 廢寺實況、宛然在目

○雨後觀花　　　　大隆 鳩仙

偶題溪上立瑤姬。流水淺淺雨霽時。士女山房春尙在。桃前梅後看幸夷。

評曰 後半得陸龜蒙不待群芳應有意等閒桃杏即爭紅、詩意

○春日山寺　　　　黑柳 靜州

春風花發滿禪堀。雨霽庭前草色靑。有老僧嫣然笑。聽鶯來誦法華經。

評曰 化陳作新亦可誦

黃丘居小吟

蓬莱久振りに五の日の十日會に行く生憎門標して終に雨に遭つて共に盃を仰ぐも亦奇ならずや、て見出の通り

朝墨　　　　黃丘

朝墨渡し船重たく押し出す

朝墨蓟ステッキに折れる

朝墨山を出る谷玉木張る

○

朝墨馬で立つ馬來ようの遲く　　　　鳥堂

朝墨ろ棕櫚古葉ひッそり

溫泉肢女しどきのゝ朝墨

本紙定價 一部金五錢郵稅一錢 一ヶ月金八十五錢 …… 前金に限り …… 郵券代用二割增
廣告料 ▲五號活字十六字詰壹行金八拾錢 ▲二號活字八字詰壹行金壹圓六拾錢 ▲三號活字拾字詰同上 ……
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
京城太平通一丁目
發行所 合資會社 京城日報社
電話番號 編輯用 …… 營業用 …… 振替貯金口座京城三〇〇

最新刊

小樽高等商業學校教授 苫米地英俊先生著

商業英語通信軌範

菊版布製美裝約七〇〇頁 定價金二圓五十錢 送料十二錢

時代の要求を充す著なきを慨せる著者は遂に學究的にして實際的なる本書を發表せり。

本書の特徴
一、通信用術語、商用慣用語句に對し組織的に研究し、統一的知識を與へたり。
二、文章の構造を說き、語學的說明を加へ一讀容易に活用の途を拓きたり。
三、商業貿易の各方面に渉り網大となく詳述し、且最も困難なる商業書式の記入を一見明瞭ならしめたり。

實に本書は模範的參考書にして斯學唯一の教科書たり又直ちに辭書となる、故に貿易業諸賢商業學生諸氏の無二の好伴侶たるを疑はず。一讀必ずや「待ちて漸く得たり」の感あるを信ず。國際貿易に於て商談の迅速、圓滿なる解決を望まば乞ふ先づ本書を繙かれよ。

小樽高商教授 志摩商學士著

最新複式商業簿記

菊版布製美裝 定價金九十錢 送料金八錢

東京本所表町 振替東京二二三 寶文堂 ● 京城本町 振替京城二七五三 大阪屋號

京城府公文

府協議會ノ諮問ヲ經朝鮮總督ノ許可ヲ受ケ手數料條例中左ノ通改正ス
大正六年五月十八日 京城府尹 金谷充
京城府條例第二號
大正三年京城府條例第十六號手數料條例中左ノ通改正ス
第一條第十一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ
十二 課稅物件ニ關スル證札ノ再交付 一付二十錢
附則
本條例ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

購買 龍山陸軍倉庫
玄米 精米 詳細ハ五月十六日以降朝鮮官報ニアリ

購買 臨時土地調查局
一、圖入鐵 五千參拾四個
詳細ハ十六日以降ノ朝鮮官報ニアリ

池坊生花大會
來る十九日二十日兩日南山本願寺に於て晝夜開催 縱覧御隨意
大日本准總華督 原賀七星堂社中

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記の處に移轉仕候
京城吉野町一丁目 電話二二八二番
友田運送店

店員至急募集
年齡十六歲より二十歲迄但市內に確實なる保證人を要す
龍山漢江通一三 電話四五五番
龍山堂書店

旅行用具 東京製袋物 魔法瓶

夏物紺セル 洋服賣出
一等 上下三組 二十八圓八十錢
二等 同 二十八圓八十錢
三等 同 二十一圓五十錢
鐵道拂下品 其他軍隊拂下品各種和洋古着類荷揃
右例年通り特別廉價販賣
和服洋服商 龍山元町二丁目 金子與市商店 電話一〇五番 振替京城三八二三番

今回 皇后宮職より京城大崎組商會へ 金鵄香水 御買上の旨御沙汰せらる

會員大募集

一ヶ年卒業 實業講習錄

總裁 大隈侯
副總裁 澁澤男
顧問贊助員及び講師は天下第一流の諸名士諸學者なり

今や實業青年大活動の時代來れり

今や實業の天下なり、我が實業界は實力ある實業青年の活動を待つ事急なり。本會は實際の役に立つ實力の人を養成す。

大附錄 書翰文習字

只今の入學者には特に大特典あり見本を見よ ●見本無代進呈 ハガキにて至急申込あれ

學科		會費	
▲商業簿記	▲商業實務	一ヶ月分	五十錢
▲銀行簿記	▲商業地理	三ヶ月分	一圓四十五錢
▲商事要項	▲經濟講話	六ヶ月分	二圓八十錢
▲商業英語	▲實業讀本	一ヶ年分	五圓五十錢
▲商業作文	▲商品學		
▲商業數學	▲實業史		
▲珠算暗算	▲處世法		

東京市京橋區南紺屋町之日本實業社內 帝國實業講習會 振替東京四〇一六

支那の形勢

▲反對黨の決意固し　局面は目下行詰り

十六日は形勢にさしたる變化なく政黨中段總理に左袒せんとする傾向の觀測せらるゝものありと雖も果して十八日若くば十九日の議場定員數を得べきや否や疑はしく局面は行詰れる現狀にあり、とは勿論反對黨が段總理の下には宣戰案を議決せずとの牢固たる決心に起因するものにして而も彼等は敢て否決せんとするにもあらず憲法の正條に議案は同一會期に二回提出する能はずとあるを頼み殊更に出席を見合す事の策戰に出でんとするものゝ如し(北京特電)

▲衆議院解散決議

十六日憲法會議審議會は衆議院解散を參議院過半數の同意を得て爲す事を議決(原案は參議院三分の二)し尚ほ同會閉會期を八月一日と爲す事をも決定せり但し右決議が大會を通過するや否やは未定なり(北京特電)

▲國會を天津に移せ

民黨議員中には國會を天津又は其他適當の地に移し武人の直接干渉を避くべしとの説を爲す者あり(北京特電)

◎獨逸宰相聲明

獨逸宰相ベートマン、ホールウエッヒ氏の聲明する處に據れば若し露國にして領土略取の目的を放棄せんか獨逸は兩國の交誼を擾亂することなかるべしと(桑港電報)

◎獨逸宰相維納行　講和提議協議の爲め

獨逸宰相ベートマン、ホールウエッヒ氏は講和提議に關する協議の爲維納に赴けり(路透電報)

◎追加豫算閣議

既報大藏省に於て査定終了せし本年度追加豫算一億圓に關する内閣會議は十八日開會さるべし(東京電報)

◎駐日米大使後任

故駐日米國大使ガスリー氏の後任として費府のローランド、エス、モリス氏駐日米國大使に任ぜらるべしとの説あり氏は過般の大統領選擧に際しペンシルバニア州の民主黨委員長たりし人なり(東京特電)

◎軍人後援會總會

帝國軍人後援會にては十七日午前十時より總裁伏見宮貞愛親王殿下の台臨を仰ぎ東京市京橋區築地水交社に於て第十八回通常總會を開き寺内首相以下陸海軍の將星並に大隈會長以下職員二百餘名參列總裁宮より令旨を賜はりたり猶副會長土屋大將退役の爲め後任に堀内陸軍中將就任せり(東京特電)

滿洲の視察を了へて＝山縣政務總監の歸京＝(十七日夜南大門驛にて)

◎單獨講和と株式　諸株一齊に下落

又復露國單獨講和説傳はりし爲め十七日の株式市場は混亂の狀を呈し直取引は瞬間に十七八圓安を示し諸株一齊安にて二回立會も激落せり

◎浦鹽禁輸實施

浦鹽の禁輸令は四月三日より實施せらるゝ事となりしも浦鹽稅關には何等の通牒なく稅關にては其期限を以て依然輸入を許し居たるが本月三日に至り同稅關にも其の通牒到達せしを以て愈々同日より國防品以外のものは對絶に輸入を禁止する事となれり尤も沿海州に於て需要の物資は商務局の許可を得輸入し得る事となり居れるが其方法は浦鹽港務局長、市會議長、商業會々長、要塞司令官等は各水曜日會合を爲し其際願人より許可申請に就て審議許否を決し許可のものには商務局長の名にて許可書を與へ願人は之を以て生産地汽船代理店又は積載船長に示して輸入を爲すものなりと浦鹽歸客は語れり(浦鹽)

◎政務總監一行を迎ふ

山縣政務總監一行の歸京を金村驛に迎ふ、最後部聯結の特別列車に入れば總監初め何れも瀟洒たる背廣姿にて、約二週日に亙る長途の旅行に拘はらず元氣旺盛些の疲勞の色なく車中の歡談湧く如し　曰く此行初め奉天までで歸る積りだつたが、折角滿洲に足を入れるなら序でに全線を視察したらよからうと云ふ事となり、遂には長春より吉長鐵道に搭乘し吉林の一瞥をも行つて來た、道順は大連より旅順、更に營口を經て長春に北上し、吉長線を往復の上奉天に南下、撫順支線に乘り五龍背を經て歸鮮したのだが

▲何分忙しい旅行　で短時日の間に殆んど席暖たまる間もなく飛び歩いたから無論各地の詳細な狀況を知る事は出來なんだ、唯だ滿洲を大觀して總べての規模が豫想外に大きい、直覺的に云ふと朝鮮より內地に歸ればいかにも母國は狹苦しく感ずるが、滿洲を一巡の後朝鮮に入るとどうも朝鮮は半島的で小さいと思はざるを得ぬ、朝鮮各地の山又山の地勢と異なり、滿洲は關東州及び安奉線の一部を除けば漠々たる際涯を知らぬ大平野である、而して都府や滿鐵に經營の潤澤な故もあり寒氣の慘烈な關係もあらうが一體に滿洲の都市經營は

▲規模宏壯である　例へば之れを家屋に見るも多く堂々たる煉瓦建にて耐寒設備甚だ十分らしく見ゆる、兎に角各地の總體的觀察殊に工場の如きは不足ながら之れを試みて來たから今後朝鮮に於ける各種の施設上には參考となる點も多いやうだ、滿洲の各地では新聞記者諸君より切りに滿鮮統一に關する意見を質問され又其等に對する調査のため旅行をしてゐるかのやうにも尋ねられた、併し今回は何等左樣な意味を帶び滿洲行きを企てたのではない、滿鮮統一と云ふ事は總べての點に於て頗る結構である、敢て何人にも異論はなからう、唯其の方法を如何にするか時期を何時にするか、

▲制度を何の樣に　改めて行くかと云ふ如き詳細の事は中央に於て機密の裡に調査もされ研究も行はれてゐるので今日の處全く關知しないのである、大連は街路も整然、櫛比せる家屋も宏壯、市況頗る活氣あり、東洋一と稱する埠頭の設備を有し、內外に向つて盛んに其の集積せる貨物の發送を行ひつゝあるに拘はらず、倘停車場より築港に至る廣場の滯貨は廿餘萬噸を超ゑてゐると云ふ話しであつた、唯昨秋以來の寡雨、イヤ寡雨と云ふより無雨のため大に水道の缺乏を來し淨水の不足は大變なものらしかつた何でも大連に於ける鐵道用水の如きは全く

▲水道水を用ゐず　毎日旅順方面から少なからぬ水を大連に搬ばせてゐると云ふ事も聞ゐた、旅順では中村都督も白仁長官も折好く在任され會見した而して烈風颯々たる裡に黄塵を浴びつゝ馬車を驅つて戰蹟を見學し松樹山上で中食をとつた旅順から北行の車中鞍山站驛附近に於て滿鐵の本年より經營せんとする製鐵所の計畫を望見し其の詳細な説明を聞いたが何でも本年投ずる興業費は七八百萬圓の巨額に上るらしく將來盛んな經營を續けて行く方針のやうだ、營口では大雨に會ふ、雨中ランチに搭乘して遼河沿岸の市街を展望し、支那街の一部にも上陸して見た

▲長春より吉林に　行く時は何處へもお知らせしない事にして辨當を携行した所、吉林に著くと領事や支那側の孟督軍は晉京中で不在だつたが省の政務廳長並に特派交涉員の諸氏やらが大に接待され乃ち日支官憲の御馳走並に吾輩等の辨當とで三つ午餐が重なり大に馳走責めにあつた譯だ吉林市中は馬車で一巡し更に北山に登つて全市の展望を試みた、支那街としては頗る賑やかであつた、長春は其の地の利を占めてゐる點より見て倘ほ前途發展して行く土地であらう、奉天では一昨年共進會當時の知己たる張雨亭督軍からぜひ會見したいと云ふ申込みもあり、旁々

▲督軍府に敬訪　し其の叮重な馳走を受けた、而して辭するに臨み督軍より答訪したいと云ふ挨拶があつたから滿鐵の公署で之れを受けた、奉天の赤塚總領事は最近奉天朝鮮人會の認可を斷行したさうだが、兎に角在滿鮮人に對し色々の保護誘導を興味を以て加へて行かれるらしい、一行は奉天で二三の鮮人にもあつた、何しろ在滿鮮人は三十萬と稱し又奉天附近は三千人と云ふけれど第一其の數から不確で質に至つては無論明瞭を缺いでゐる、それらに就き今後總領事館で調査を續行するらしい、又近來在滿鮮人中時勢の推移が分つて帝國の

▲官憲に倚賴して　行くと云ふ風が大に生じて來たやうである撫順では坑內には入らなかつたが一應の視察を行つた、其の採掘設備は豫想外に完備し又大きい、例の早春爆發した大山坑は最近開坑し目下內部の整理作業を續け屍體の掘出をやつてゐる云々。倘ほ一行は大連より改野滿鐵理事旅順より田中秘書課長東道の勞をとり又各地に於て民間歡迎會の催し頗る多かりし由なるも全部之れを謝絶したりと

◎政務總監歸京　鈴木局長同行

滿洲各地視察中なりし山縣政務總監鈴木土地調査局長、遠藤秘書官、今關囑託の一行は十七日午後七時三十分南大門驛著列車にて歸京せしが橫井三本和田鐵道局各課長各新聞記者等は途中まで又停車場には李完用伯趙重應子美濃部鮮銀總裁川上東拓理事荻田總務局長其他官民の出迎ひ多かりき

◎鐵道賃徵收改正　日支

日支鐵道聯絡運輸賃金中旅客及び手荷物賃金は日本鐵道系に屬する分は圓支那鐵道系に屬する分は弗を以て收入することに改正せられたり尚爲替相場變動激甚の場合は豫め增賃金を徵收し官損を生ぜざらしむ可しと云ふ

逐鹿風聞記

京城學校組合議員選擧有資格者名簿の閲覽期間は十六日の午後四時に終つた▲閲覽人員の總締高は約三百名位で其の大部分は鹿を逐はんとする人々の運動員らしい、又其の名簿に就ての異議申立ては殆んどなかつたとの事である▲會議所の翠花書記長が組合議員候補者として打つて出るだらうと噂して居る者もあるが、翠花子は一笑に附して居る、曰く『据る稽古の最中です(禪の事か)起つものですか』と▲古城梅溪中村再造の兩氏が出るらしいと先日書いたが、どうもこれは噂のみに終りさうだ▲廣江澤二郎君も忙しい身體ではあり旅行勝ちな人だから起つまいと云ふ人が多い▲から老いて來ると世評に上つた候補者中段々減るやうだが、然し新顏の出馬……但しまだ暴色……可なり多いやうだから間際になると大に景氣づくであらう▲印刷物を最も夙く配附し又荷くも機會ある每に叩頭又叩頭自己推薦を怠らぬのは朝鮮寫眞通信の安藤靜君であり、又最も早くから運動してゐたのは南大門外の河村千次郎君だと云ふ、何でも河村君は去年の暮れからそろそろ頼んでゐたさうだ▲龍山は有資格者の數多く見て鐵道で一名其他で三名しか出せない、鐵道で目下出してゐる石川眞三君はゼヒ止めると云つてゐるから、何人を石川君に更へるかはまだ定まらない、民間側は十五日有志の相談會を幼稚園に開き、大村百藏君大和與次郎君の兩氏を推す事は略一同に異議もないらしいが、他の一人はまだ決定せぬと云ふ

◎北支航路休航期　朝鮮郵船

朝鮮郵船にて經營中の仁川大連芝罘島間の北支航路は四月以降會社船繰の關係上休航中なるが二三方面より同航路復活の要望あれど會社所有船は右航路に振向け得べき餘力なく又到底目下暴騰せる傭船を以てしては採算不可能に付來る七月下旬新造船の竣工して來る迄休航する外なかるべしと

◎府內所得稅完納

府稅務課にては大正五年度租稅の未納額に就て本年一月中に其の整理を結了する筈なるが右の內昨年十一月より朝鮮に始めて實施せられたる法人所得稅に關しては法人が其の社員を他に配與する賞與金を法人所得に計上するや否や等多少問題ありたるにも拘はらず、若し法人側の主張通り裁決せられたる場合に於ては相當稅額還付の條件を以て某一會社を除き無事全部の完納ありたりと云ふ

◎定期回數券と便法

定期乘車券及び回數乘車券の買求めは從來申込書を要せしが鐵道局にては今回規定を改正し普通乘車券の如く口頭申込により發賣することゝなれり因に學生定期乘車券の買求めには學校長又は管理者の發行せる在學證明書を要すること從前の通りなるが右改正と同時に在學證明書に本人の現住所の附記を要することに變更されたり

人事消息

▲佐藤政次郎氏(滿洲模範場技師)　十七日夜入京巴城館へ
▲鹿島忠太郎氏(元山電氣社長)　同上浦尾へ
▲根岸榮氏(鎭海海軍練習所主計長)　十七日夜退京
▲大城戸總督府囑託　十七日夜南大門驛著入京
▲青木戒三氏(總督府商工課長)　十七日夜歸任
▲菱田靜治氏(總督府外事課通譯官)　同上

南岩北語

獨逸は愈々露國に單獨講和を申込んだ相な▲例の一流の辣腕で革命後の露國社會黨を煽動して大分騷動を惹起させ▲露獨兩軍では兩軍の兵士が握手などして遊んで居るのみならず國內の形勢何となく不穩と來たので▲之れやあ今が付け込み處だと見て取つたに違ひない▲が露國でも革命の花形役者大立者のミリューコフ君が采配を取つて居る間はマア獨逸の此の手には乘るまい▲併し獨逸の單獨講和申込は一種の露國々內騷擾の煽動とも見ゐる▲其の尻馬に乘つて土耳古迄が兩海峽解放を口實として同じく單獨講和を申込んだとある▲之れは土耳古一個の考へではなくて獨逸策士の方寸から出たのに違ひない▲何にしろ露國に取つては大事の場合だ靜に〳〵▲歐洲大陸では斯る局面がこんがらがつて來つゝあるのに米國の募兵は何うもばか〳〵しくないらしい▲何故かと云ふと十九歲以上二十二歲以下の獨身者を徵集すると云ふ事にすると▲之れや大變と急に結婚者が激增し市俄古計りでも一日に五百人から六百人ある▲當局もこんな筈ではなかつたと今更少からず閉口して居る相だ▲米國も亦徵兵令で一と騷ぎせずばなるまいか▲何はともあれルーズヴエルト君の一隊だけでも早く出發さするのが好い▲さうすれば大分戰爭氣分にもならうからナア

特價撤回 追る

實務家は本書を得て、始めて辭書の實用利便を悟れり、教育家は學生唯一の模範として推薦し、新聞雜誌は一齊に最完備せる現代式實用字典と激稱す、輿論は要するに公明なる審判者也 今や驚歎すべき本書の發賣數は一躍九萬を超ゑ、自然的歡迎の裡に最終の壹萬部を提供し以つて十萬部普及の完了を告げんとす。

服部博士小柳教授共著　四六版一千二百頁　最新式索引附
特價金貳圓(正價二圓五十錢)郵稅內地十六錢臺灣樺太三十五錢朝鮮支那四十五錢
特製(背革)(附インデツクス)特價二圓五十錢

詳解漢和大字典

勢の進む所今次提供の壹萬部が競爭的需要を喚起せんこと必せり　本月三十一日を以て特價撤回の最終日なることを警告す　一般人士學生諸君一日を遲疑する勿れ。此の至廉至便の字典を購求する好機は永久に去らん

東京神田 冨山房 振替五〇一　內容見本進呈

石版活版各色　印刷用インキ　謄寫版インキ　石版用ルーラ　製造販賣所　京城古市町(元郵便所跡)　芹川商店

釣漁具各種　卸小賣　仁川海岸町三丁目角　芹川漁具店　電話七五四番　振替京城一七六七番

最新刊　書名　著者　定價
- 補修朝鮮行政法要論　永野清 武男　五五
- 歐州大戰と日本の將來　山口走藏　一、八〇
- 儒家哲學本義　內田正　一、〇〇
- ロッス社會心理學　高部勝太郎　一、四〇
- 大正六年職員錄　朝鮮總督府編　五五
- 小作臺帳　松本恒吉　一、六〇
- 發見易う算術の解方　岡田昇一　五五
- 正式算術熟達自修書　數理研究會編　八〇
- 句佛上人　沼夜濤　二、〇〇
- 女に觀めて　新渡戸稻造　一、三〇
- 女の務むべき道　高橋孝子　八五
- 日蓮全集　日蓮宗普及會編　二、〇〇
- 昭古今俳句集　合本　水田青太郎　九〇
- 新撰俳句　北原白秋篇　六〇
- 大下の糸　平高橋淡水　七〇
- 俳句現俳壇の人々　黑田忠次郎　七五
- 長編講談　國定忠次　西尾麟觀　三〇
- 草合　夏目漱石　一、三〇
- 鳴雪俳句鈔　內藤鳴雪　三五
- 美文の作りやう　吉川霞巖　四五
- 小野名人將棋秘訣　小野五平　六〇

大阪屋號書店　京城本町一丁目　振替京城二五七三番

京日案內

普通
- 勸業債券買入　京城太平通二ノ三六　勸業貯蓄會社支部　電二八三一番　13
- 配達人數名至急募集希望者本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す　明治町二丁目　町田新聞鋪　16
- 月手當五圓外に歩合を給す日鮮人外交員募集履歷書郵送すべし　京城並木町二十　騷史寫眞會支部　20
- 有望なる賣藥店至急讓り渡したし(姓名在社)　19
- 配達人數名至急募集希望者本人來談あれ但し市中確實なる保證人を要す　明治町二丁目朝日牧場牛乳販賣部　17
- 藥局生看護婦及見習至急入用　姓名仁川支局　18
- 有資格看護婦採用希望者は履歷書携帶來談あれ　新町病院　11

番外
- 鯨尾羽毛卸小賣　香月商店　京城明治町二ノ四八　2
- 製阪職工募集(平版行)　希望者は京城明治町二丁目精美堂印刷所電一七〇七へ
- 京城春川間乘合自働車　賃金片道四圓　京城發前八時　春川發前八時　京城水標橋通り電話二一三八番　京春自働車商會　支配人松田壽男　70
- 魔法瓶及魔法瓶中瓶取替　京城本町一丁目電話一三四番　高木旅行用具店　4

……款は原案通り可決し役員の選擧を……ひ無事創立を告げたり資本金五萬圓にして拂込は二萬五千圓なり目的は……

……六日午後五時長春著名古屋旅館に投宿せるが十七日午後十時三十分發列車にて南行すべし（長春特電）

◎藤井七師團長　十六日午後二時三十分滿鐵列車にて藤井第七師團長は副官二名を隨へて長春著

◎福原司令官檢閲　獨立守備隊福原司令官は十五日長春著十……の爲め……

◎吉……　吉長沿線下九臺は同地方穀類の集散地なるが近時糧粮の賣行良好なる爲……

◎奉天銀行取締　……銀行にも手を下して嚴密に調査せり……（奉天）

朝鮮が斯くも立派に變つたか

◇＝京城に著くまでに何もかも感心してしまふ◇＝

白頭山の雪や鹿島平野の月に嘯いた、間島鮮人視察團一行の感嘆

はる〲咸鏡北道北境の間島から入京した朝鮮人京城視察團の七十五名は同地總領事館の川南書記生等に率ゐられて十七日午後五時二十五分南大門著、驛頭は紅黄青白幾旒れの歡迎旗と **▲朝鮮樂隊で湧き** かへるやうな大歡迎、先づ趙子爵其の他の貴族連中から韓專務その他の實業家、商業會議所議員役員を始め澤田內務部第一課長、金谷府尹等の出迎ひあり且大正親睦會員の人々も熱心に斡旋して萬遺漏なき款待振りであつた一行は先づプラットフォームで出迎者總代趙子爵の挨拶をうけ次いで **▲視察團長李熙惠氏の謝辭** を述べると共に驛頭からは腕車の長列に驩迎旗をひるがへしつゝ南大門通りに向つた、旅館は鍾路の貫鐵洞各自漢城、朝鮮、廣東旅館に分宿することゝなつた、此の遠來の珍客の中には農業家もあり雜貨商もあり宿屋業もあり私塾の教師もありて千差萬別中には有名な李範允の部下となつて數百の子分を有つた豪傑もある併し **▲何れもパナマや** 中折に周衣をつけ紅の櫻花に間島の文字を記した揃ひの腕章、團長さんはフロックコートでその中三四人支那服をつけた人も見ゐる、何分にも圖們江を越ゑて對岸の支那間島、白頭山の雪や鹿島平野の月に嘯いた人達だけにモッ局子街や龍井村あたりから腕章をつけ國境會寧で勢揃ひするのが **▲待ち遠かつたさ** は罪が無い、また一行中の趙義春氏の如きは間島に往つて既に三十年餘ては一方の首領として排日の旗をひるがへした人であるけれども久し振りの朝鮮がかくも立派に變つたかとて感慨無限の態であつた、猶ほ中には支那の官吏を勤めて居る人もあり、また支那の村長、里長の如き地位に在る人もあつて非常に故國の春を悅んで居た、また一行の一人は國境會寧の **▲大兵營に打驚き** また命令一下直ちに對岸に渡る鐵の渡船に感心し『日本が斯うまでしてわれ〱の生命財產を保護して呉れるか』と感嘆した人も尠なくなかつたといふそれから羅南の大兵舍と云ひ鏡城の咸北道廳といひ淸津港といひ何れも非常な印象を遺し李團長の如きは『日本の施設がかくまで行き屆いて居るのにはわれ〱一同感心である

◇遙々と白頭山の下から來た珍客＝□□□間島鮮人京城視察團一行入京＝（フロックコートの左）趙子爵が右の團長李熙惠氏に歡迎の辭を述べる

◇間島の娘さん　道回間島からの視察團一行には萬綠叢中紅一點、可愛らしいお下げの少女が三人、南貢の上衣に黒の裳も凉々しく一緒に來た、汽車が南大門驛に著くとプラットフォームにはまた三人の白服の美人が待つていろ〱と此の三人を世話してゐた、前の三人といふのは道回京城の進明女學校に入學する朝鮮の少女で崔貞子（一六）と金福令（一五）と崔淑子（一三）の三人であつた、その中年上の崔さんは途中の眺めは何もかもすべて珍らしく面白かつたと恥かしさうに答へる、間島の娘さんは色は少々黒いけれども何れも可愛らしい少女であつた、猶ほ學校からは校長嚴俊源氏に教員李昌林氏が出迎へ、女の先生申英子さんも出迎へた、寫眞の右は間島の少女中の二人は學校生徒の代表者、中央は中女教師、前の二人は間島の少女左の後は校長と先生である

せずには居られませぬ **▲道路こいひ山林** と云ひ舊韓國政府時代とは雲泥の相違で其の激變に驚いて居ります、これでは併合當時一時總督府の施設を誤解した胸もすつかり解けて了ひます……」とのお話し『元山でも高い長德山の上から永興灣を眺めつゝ麥酒や御馳走の饗應にあづかりましたが何分汽車も汽船も不馴れの人が多いのに此の官民共同の **▲御驩迎には何こ** 御禮申し上げてよいかわかりませぬ」と大よろこび中には南大門驛頭の破れるやうな萬歲の聲に感泣してゐた人々もあつた

夏場所

▲七日目の勝負

（十七日午後十一時半東京電）

勝	負	勝	負
友の浦	友の山	荒石	外ケ濱
太刀嵐	男島	御西山	浦の花
矢筈山	紀の川	花の山	荒玉
東雲	國見崎	玉の川	大の里
大門岩	三杉磯	龍ケ崎	柏戸
達の矢	藤の川	石山	彌高山
大の高	紅葉川	釋迦嶽	鶴渡り

錦島（すくひなげ）對馬洋
逆鉾（ただし）浦の濱　若島（休）岩木山
源氏山（とつたり）黒瀨川
潮（だし）一港　大錦（ただし）土州山
（中入後）
大湖（よりだし）明……　淸瀨川……鳴門洋
琴ケ浦（したてなげ）常の花
八甲山……宇都宮　敷島……小常陸
大戸平……宮城山
九州山（もたれこみ）大鳴門
泉（こはまなげ）眞砂石
栃木山（つきはなし）千葉崎
伊勢濱（たつしり）兩國

△八日目の取組

琴ケ浦（三杉磯　若島　明　淸瀨川　大門岩）
常の花　柏戸　錦　達の矢　島（宇都宮　總渡り）
宮城山　大鳴門　逆鉾　千葉崎　對馬洋　眞砂石　九州山　伊勢濱
大錦　黒瀨川
△中入後
大の高　鳴門洋（彌高山　八甲山）（小常陸　紅葉川）（源氏山　石山）
龍ケ崎　大戸平（一港　浦の濱）（釋迦嶽　藤の川）（駒泉　土州山）
兩國　敷島　朝潮　栃木山

右取組の內大錦對黒瀨川は本社出題の勝負豫想取組なり

▲岩木山休場　岩木山は發熱のため七日目より休場を申し出たり

◎瓦工場の火事

十七日午後二時頃高陽郡漢芝面新堂里山本音次郎方より發火し工場なる堀立小舍一棟（約四十坪）住宅亞鉛板葺日本建一棟（三十坪位）を全燒し午後二時二十分頃鎭火せり發火と同時に京城分隊の憲兵及び往十里消防組南大門常備消防隊出動して消防したり損害及び原因取調べ中

◎七十餘名の農民暴行を働く　山林を盜伐す

平安南道龍岡郡龍岡邑內所在片倉組林業部の雇人內地人某は去る十三日午後一時頃配下の鮮人三名を隨へ同郡龍月面松石里の山林巡視中鮮人數名の鎌を持ちて入込み居れるを發見し盜伐ならんと思ひ其內の二三人を **▲捕へて質問** しつゝありしに折柄七十餘名の農民喧聲を擧げて押掛け來り直に內地人某及び隨へたる鮮人二名をも包圍して取押へ種々暴行を加へたる末所持せるピストルを奪取り同地面長及び里長の家に引立て行きたるが此事龍岡巡査駐在所に通報せるものあり駐在所に於ては急報に接し鎭南浦及び廣梁灣の兩警察署に急報し神田部長巡査二名及び巡査補二名を隨へて **▲現場に急行** し暴民等に懇諭するところありしも容易に聞き入れずその內鎭南浦署及び廣梁灣署より十數名の警官來著し被害者たる內地人及び鮮人等を取返し暴民一同を懇諭し其內の四十八名を逮捕し目下關係者一同廣梁灣警察署に於て取調べ中なりと（平壤）

李朝太祖

▽哈蘭の戰勝　蒙古兵擊破　太祖と咸興

△太祖以前の系統しらべ＝溯れば先祖は全州より＝咸興の廟で元兵を破る

それでは古い太祖の最初の御先祖は誰れであるか、其の御系圖しらべを試むれば先づ太祖から逆に溯つて桓祖、度祖、翼祖、穆祖といふ順序になる、その以前はといふと只全羅北道の全州から興つた李氏とばかり謂しは

◇頗る神秘的 になつて來て雲煙模糊として捕捉することが能きぬ、今咸興本宮に祀られた太祖以前の御先祖といふのはつまり右の五代目前の穆祖王からが初まりとなつてゐるのである、然らば御先祖の中一番初代の穆祖太王はどんな方かといふに素と高麗朝に仕へて宜州の知となり當時の

◇支那の元朝 に入仕して南京の五千戸所、達魯花赤と呼れて居た、タロハチは蒙古語であつて日本內地のタロハチなどとは意味が異ふ、詰り今の道長官のやうな役目に居たのである、そして今の咸北圖們江地方に居られたから御陵は始め咸北慶興郡に葬むつてあつたのを移葬したものである、それから二番目の方が元山附近赤田社に生れた、翼祖大王であつて御陵は安邊郡の智陵と稱せられ妃崔氏の陵は咸鏡線文川驛附近の淑陵といふのがそれである、またその次ぎが度祖大王で此の人は

◇咸興に生れ 御陵は東雲田社の義陵と呼ばれてある、さて其の次ぎが太祖の御父桓祖大王の順となる、これで見ると李朝と此の咸鏡南道の土地といふものはむかしから切つても切れぬ關係に繫がれてゐるのであつて現に太祖の御父桓祖の齋郎なる永興の本宮の如きまた

◇太祖の參謀 たりし僧無學の開いた京元線の釋王寺の如き何れも李朝五百年のむかしを物語らぬはないのである、殊に咸興が哈蘭と稱ばれた時代には太祖の仕へてゐた高麗朝が支那の大元國に叛したといふので元は丞相納哈出を遣して北の方から攻め寄せたのである、

◇此の時太祖 は例の强弓を以て哈戰道に蒙古の兵を擊破し赫々たる武勳を輝かしたのである、兎に角咸興と李朝の太祖とは因緣が深い（筆者＝咸興にて特派員）

◎軸物代を横領

熊本縣天草郡大道村生れ京城永樂町一丁目居住福田榮吉郎（四〇）は本年二月中茶屋町村瀬某より其の所有軸物雁の繪一幅を他に賣却方を依賴され同月二十八日龍山元町辻谷某に依賴し京城新町武內質店に金三十圓に入質し其の代金を横領したる爲め本町警察署に檢擧さる

◎發狂女の投身

京城積善洞安洙敏妹金英子（四三）は精神に異狀を來し十三日午後零時半頃唐珠洞の共同井戸に投身して自殺を企てしを附近の徐丙奎が引揚げ生命に異狀なし

◎浸水で沈沒

釜山齊桟橋沖合に碇泊中の汽船名草丸へ積込むべき軌條鐵千百五十本を搭載せる艀船一隻浸水の爲め沈沒したるが損害は九十圓なりと（釜山）

えんげい

▲有樂館　十八日より全部新寫眞と差替ゆべくその主なるものは左の如し▲實寫伊太利の古跡▲喜劇ビル君とトランク泰西人情劇『ロッキー罠』全三卷▲新派社會劇廻る運命▲舊劇曾我物語全八卷百二十場

▲黄金館　十六日より差替への寫眞は舊劇神風連、活劇船上の秘密、笑劇呪の名、ボーフの出演あるべしといふ

▲壽座　大阪歌舞伎中村梅次一座にて開演中

髪　なよやかに　丈長がく　美しく房々と　黒く漆のやうにするは　廣い世界に

パール煉香油　があるばかり

……とは　パール愛用者がおつしやる實話であります

本舗 東京　平尾鉄也商店
關西代理店 大阪　平尾贊平支店

特價　ムギワラ帽子　定價表
（イ）號　金五十錢
（ロ）號　金七十五錢
（ハ）號　金一圓
（ニ）號　金一圓廿錢
但し個數に制限あり　一刻も早く御買上を乞ふ
京城本町　ツカタニ　出張店　電一三六番

◎社員招聘　希望者は履歴書携帶午前中に御出頭を請ふ　保證人二名を要す　給料は面談の上取極む
京城長谷川町五十八番地　帝國公債信託株式會社朝鮮支部　電話長二五三四番・振替口座京城二〇一七

秋菊　本植時期　挿芽苗販賣　目錄進呈　栽培法御所望の方は郵券三錢送付を乞ふ　大阪市淀屋橋道修町　菊と朝顏專門　細井秋好園

絶好娯樂の侶　長編講談
四六判每册五百餘頁口繪二葉挿畫八十個　▲正價各三拾錢　郵税一册六錢小包料二册八錢三册より四册まで十二錢
十九編　國定忠次　西尾麟慶演　最新刊
既刊書目　木下藤吉郎　由井正雪　天下茶屋　赤穗義士　大久保彥左衛門　加藤清正　岩見武勇傳　伊賀屋文左衛門　笹野名槍傳　水戸黄門漫遊記　伊達騷動　荒木又右衛門　澁川伴五郎　石川五右衛門　自來也　播隨院長兵衛　鹽原多助　天一坊　村井長庵　羽柴筑前守　豐臣秀吉　佐倉宗五郎　相馬誠忠錄　文治
東京本町　博文館

消毒石鹸　アルボース　在庫豊富
京城南大門通三丁目　福田又京城支店　電一一二二　振替京城二九二

鐵　鋼

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　朝鮮銀行
電話　長三三一、三三二、三三三、一一六、一二六〇、一六一三、一二六一　振替貯金口座京城三三三番
支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

怒濤の月

百六十八

心頭の波瀾「三三」の七

小林蹴月作 武内桂舟畫

烱眼なる男爵は、立ろに幸三郎の尋常ならぬ氣色を見て取られた。けれども、左あらぬ體に例の重くろしげなる微笑を浮べて、

『倉橋君、いや祥雪君、乃公の受納して貰ひたいと言ふた謝禮は、乃ち是ぢやよ。君は、定めし殘忍な處置を爲る人間ぢやと乃公を怨みもし憤つても居つたらうが、乃公は無論承知の上であつたぢや。早い話が乃公は、絹代との根くらべに負けて了ふたのぢや。君の此の精神を籠めた『怒濤の月』の裏面には、此の絹代と乃公とに對する千尺の怒濤が、猛烈なる狂瀾を發して渦卷いて居る事は、乃公にはちやんと能く分つて居ますぢやよ。何事も言はん、今は唯君と絹代とに對して、過去の殘忍を詫びるより外はないのぢや。情願乃公の此の良心の懺悔に免じて、潔く受納して呉れ給へ。』

『……………閣下のお語では御座いますが、此のお贈物ばかりは、斷じて御辭退を致さにやなりません。』

幸三郎は吃りがちなる居を顫はせて、而も緊張しきつたる底強い聲を湛らせながら、彈ね付くるやうに答へた。

『祥雪君、何と言ふたの？、此の贈物ばかりは斷然謝絶すると言ひましたの。』

『はい、左樣で御座います。』と、幸三郎は、屍眼に舵と絹代の窶れはてた風姿を睨め付けたが、

『閣下、私の御辭退致しまするのは決して閣下に對する面當の意味では御座いません。仔細はちやんと本人絹代の胸中に覺のある事で御座いますから、俺まで此の儀ばかりは御辭退を申上げます。それに閣下の御命令では御座いますが、私には少しく心に誓ひ置いた事が御座いまして今日となつては最早如何にしても、絹代と夫婦になる事の出來がたい事情が御座いますので……。』

幸三郎の斯う言つたのは、穴勝男爵の厚志を斥くる爲めのみでもなければ、又絹代その者の操を買つて薄情の行爲を責め付くる爲めのみでもなかつた。實は自分の爲めに彼の蛇頭の嚴頭から怒濤の底へ飛び込んで了つた五浦のお蘭の靈に對して、一生涯必らず絹代を妻には持たぬと云ふ心の誓ひを守らねばならぬ必要から來たのである。が併し、直則男爵は、夢にもそんな事を、知つて居られやう筈がなかつた。唯幸三郎の是を辭退する理由は、一も二もなく自分が一旦手を付けた女を、譬ひ、親々の許婚なればとて、今更になつてそれを改めて生涯の妻にするなど、は男として到底忍び能はざる不愉快であるのみならず、一面には又絹代の無情と無節操とを卑むの結果であらうと、一途に只斯う思ひ込んで居られた。

『無理はない、祥雪君、君の言ふ所は、決して無理はないぢやが、絹代は誓つて乃公の辱めを受けた女でない事を立派に證明したらば、何ぼ君と雖も、快く受納して呉れられさうなもんぢやがの。』

『はい、左樣仰せられましては、私も愈々御挨拶に窮する次第で御座いますが、その事の問題は既に過去で御座います。絹代は譬ひ閣下のお手が付きませうと付きますまいと、祥雪の關する所では御座いません。閣下の御意志は閣下の御意志で御座います。絹代の意志は絹代の意志で御座いますから、今更私の口から兎や角と申上ぐべき權利も義務もない筈で御座います。唯絶對に御辭退致す外は御座いません。』

『ふゝむ、君は絶對と云ふ語を用ひねばならぬ程、それ程此の絹代なる女に愛惜を蓄かしとるんですかの。』

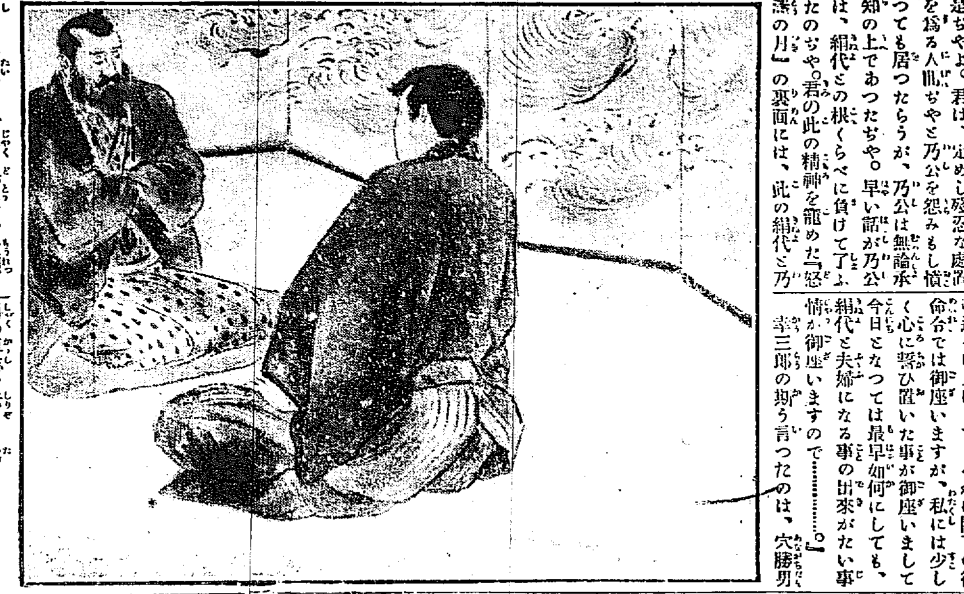
男爵の語氣は、酒の上のみでなく稍突つ刺すやうな鋭さを加へた。

『閣下には何とも申譯が御座いませんが、私は絶對と申す語の必要を感じて居りますので……。』

『では致し方ない。絹代には今日限り暇を呉れますぢやから、君も左樣に思ふて下さるが好い。』と、言ひながら男爵は、少しく膝頭を絹代の方へ捻ぢ向けられたが、

『こりや、絹代、其方には甚だ氣の毒な目を掛けたが、直則も今日と云ふ今日は、ほと／＼我を折つて了ふたのぢや。其方との根くらべは全然直則の敗北ぢや。乃公の旅行中に、此の倉橋君が偶然の事から淨玄寺の庫裏内で其方と邂逅した時の事情顛末も、實は内々寺の和尚から聞かされて承知して居るぢやが、女に似合はぬ堅固の志想と云ひ、行爲の清浄な事は丘の男兒も眞個及ばん所ぢや。乃公は懺悔した。女を一種の玩弄物と心得劣等な漁色の快樂のみを貪らうと勤めた永年の非行を良心から悔悟したのぢや。ぢやに依て今夜、乃公は改めて、其方の良人と恃む倉橋君に引渡さうと思ふたんぢやが、その結果は今聞く通りの始末ぢやから、乃公としては、其方に從來の暴威の罪をわびて、其方の自由に委せるより外はないのぢや。』

言ひ終つて、男爵は、憮然たる者稍久しかつたのである。



西洋料理 アイスクリーム おいしい京城第一との高評を博し居り候 南大門通 電話二五七一番 カフエータイガー

新小説披露

久しきに亙りて諸君の愛讀をかたじけなくせし本紙朝刊四面小說怒濤の月も愈々喝采裡に近く大團圓を告ぐべければ次回の小說は

花筐

松田竹の島人作

と題し作者が心血を注ぎたる近來の傑作なり當代の大實業家あり現代の婦人あり一片の義氣に俠骨稜々たる紳士あり巴の如く入り亂れ走馬燈の如く回る當代の風潮を巧みに捉へ來り作者が獨特の筆致を以て縱橫に描き出せる正に之れ一編の一活社會史たるを失はず乞ふ掲載の日を待たれよ

新刊紹介

▲日本魂（五月號）非常生なる現時の衣食住（高木博士）講師令と國民及當局者（後藤武夫）大戰後の日本婦人（山脇房子）其他（二十錢 東京京橋三十間堀共社）

▲世界公論（五月號）米國の蹶起と日本の覺悟（松川渓雨）隠れたる國益（三村博士）女學生の見たる男學生（橘乃子）大江戸の花（上田博士）等（十七錢 東京小石川大塚窪町二四共社）

▲教育の實際（五月號）普通文教授に就て師範主義教育の實際、練習につきて、朝鮮滿洲遊記其他教育實際問題數多（二十五錢 東京日本橋本石町共社）

▲國語教育（五月號）支那の韻文に就て、改字改造の原因、如何理窟の合はぬ句讀法、五箇條誓欵小論、商人一首等、教育實際家の論說滿載（二十五錢 東京牛込白銀町育英書院）

▲人文（五月號）宗教改革時代の獨逸の國情（大隈伯）資作元八（念力）論（林春吉）ゲエテと獨逸語（戸澤姑射）等本誌獨得（十四錢 東京小石川白山御殿前牛會事務所）

▲東洋時報（四月號）長江以南の金融機關、山東の羊毛、自由貿易に就て、鑛物雜觀、滿洲の關係、經紀物語等（五十錢 東京麹町内山下町東洋協會）

▲學校教育（五月號）少年裁判所（小河博士）家像に就ての研究（郭村店町）規德入の自由と英米人の自由（西若一郎）細繕識と夢（歸荷一郎）其他（十八錢 東京日本橋本石町寳文館）

▲水產界（五月號）朝鮮水產業概觀と移住問題（生田禰二郎）海鱗の利用及其藏期（岡村博士）虎疫と漁業に關する識議等見るべし（二十五錢 東京赤坂溜池町一大日本水產會）

▲實業之世界（五月號）副業としての木製玩具、店員氣質の研究、手數のかゝる鈴鐘の製造山羊の飼育及栗本博士の強壯の秘訣其他（十三錢 東京麹町有樂町一の四共社）

▲科學世界（五月號）色染學上の研究諸題（秀峰生）鋼の異常染色體と性の決定（小熊捍）拋物線彈道の幾何學的研究（安光生）疲勞に關する研究（桐猶拗譲）其他（二十五錢 東京本郷湯島共社）

▲一大帝國（五月號）總選擧と國民思潮（大隈侯）立憲政治と選擧權擴張（永井柳太郎）及四氏の遊說日記其他政論に關するもの（十六錢 東京芝琴平町二共社）

▲植民世界（五月號）世界大戰と日獨の興亡（大隈侯）英領馬來の勃排日令（奥村二秋）瓦利箭く可き樺太の發狐業及新島開拓者の談叢等其の他（二十錢 東京牛込東五軒町五四共社）

▲地壁畫報（一ノ六）秀顯の詮衣其他の圖版を卷頭に記事には家康と其建築、大阪落城、自陸路先生の畫等を收め揮臺殿十如例（三十八錢 東京下谷初音京四ノ 四一碑舍）

▲養鷄と園藝（五月號）雌雄鑑別法理想的養鷄場の設計園藝と土壤の研究を初め養鷄及園藝に關する實際的讀物數十を收む（十五錢 大阪東區味原町一〇二共社）

▲東亞之光（五月號）女學校教師より觀たる本邦婦人問題（吉田博士）戀愛と精神生活（吉田靜致）滑稽と其の周圍（小林一郎）其他（二十四錢 東京小石川原町七八東社）

▲謡の友（五月號）藤戸、杜若、富士太鼓の謡ひ樣に就き野口、山階、宮多三氏の說を初め謡曲問答、思入稽古等如例（十五錢 東京麹町飯田町三ノ九能樂通信社）

▲コロニー（創刊號）殖民地に於ける耿勝な研究し殖民地開發思想を鼓吹せんが爲めに生れたるものにして本號には濠洲に關するものを主として收めたり（二十錢 東京府[illegible]）

▲實業界（五月號）讀書界大革命の動機、飾窓は何所が働く、手紙商工實業家必讀の文字を滿載し倒戰後と物價の關係其他の影響（田尻博士）を附錄す（二十五錢 東京神田三河町 同文館）

▲武俠世界（五月號）破天荒なる惡黨武士血染の鐵扉、殺人魔塔、野球界稀馘膾、大正の仇討、陸軍探險隊其他本誌獨特（十八錢東京上野公園櫻木町共社）

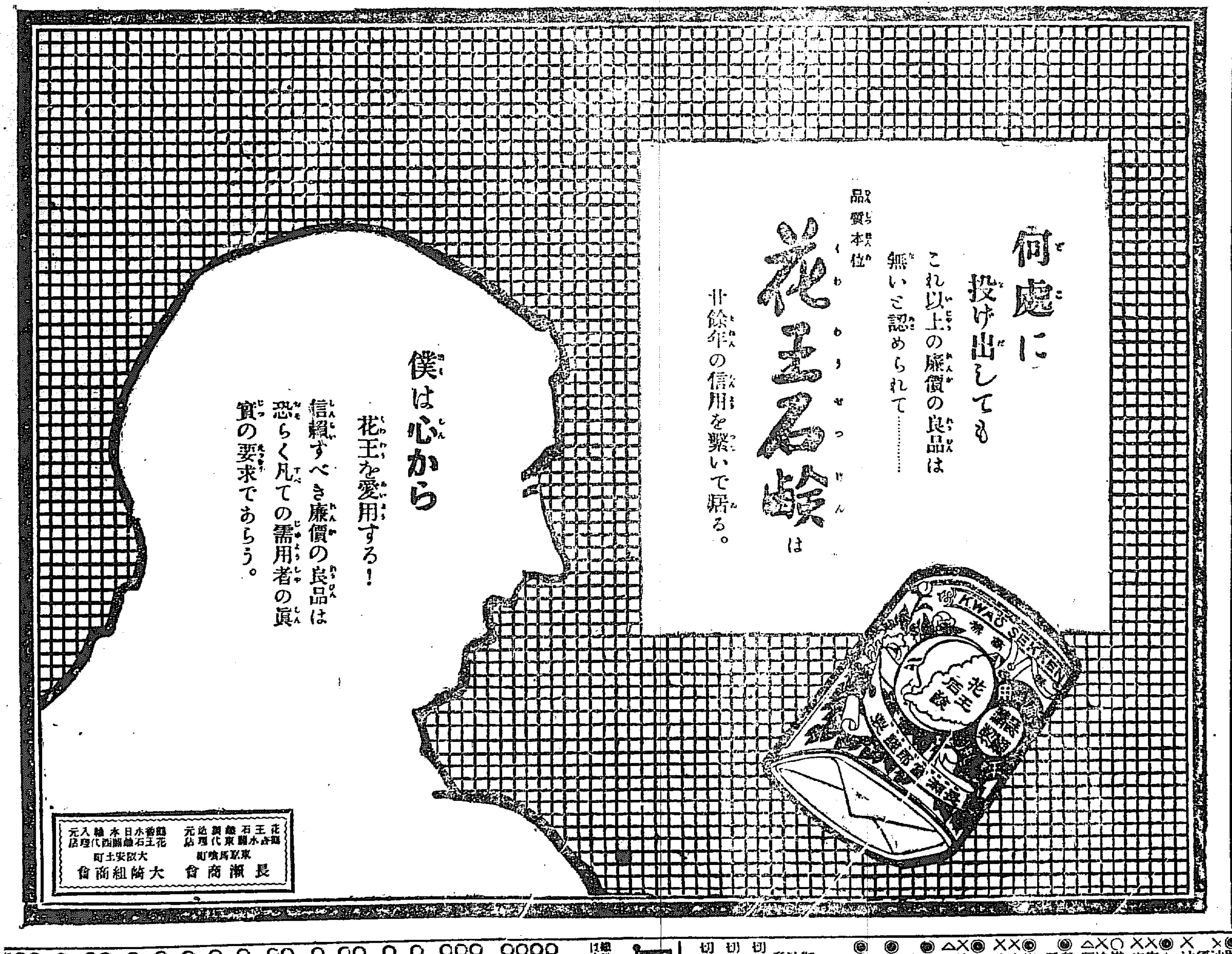
▲中學生（極東體育競技號）體育、競技、運動等に關する記事十數を初め推薦博士の報德太子十七條憲法及小說文苑等（二十錢 東京麹町富士見町六ノ一〇研究社）

月やく なきにお困りの方は郵券參錢封入左記に御照會あれ妙藥知らす 京城黄金町三丁目 山田しづゑ

目録呈 京城本町二丁目 時計商 正午堂 電話長三三〇番 振替京城三五七二番

朝鮮人蔘應用 滋養菓子 ホーカースヰート
▼堀越商店の製菓試驗部にて滋養強壯劑眞正朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカースヰートを試みよ到る處に販賣す
東京和泉橋 堀越嘉太郎商店（振替東京一五六）

淋疾内用 ブレノリン
本劑ハ「ヘキサメチーレンテトラアミン」ト硼酸トヲ結合セシメタル新化合體ニシテ「バルサム劑」ト異リ之ヲ連用スルモ毫モ胃腸ヲ害セズ容易ニ吸收セラレテ尿中ニ分泌シ尿量ヲ增加シ且殺菌作用偉大ナリ。
急性、慢性、淋疾及消渇、膀胱尿道加答兒ニ賞用ス
宇野博士緒方博士櫻根博士ハ本劑ノ治驗報告ヲ發表セラレタリ。本劑ハ粉末及錠劑アリ。
各地有名藥舖ニアリ 説明書進呈ス
東京室町 三共株式會社



尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神阪行
○大有丸 五月廿九日午後四時出帆
○君が代丸 五月廿二日午後四時出帆
○秀吉丸 五月十九日午後四時出帆
○神代丸 五月 日午後四時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 杉回漕部

日本郵船仁川出帆

大連行、太沽（天津）牛莊行
○相模丸 五月廿三日正午出帆
○福砂丸 六月三日正午出帆
三河丸 五月 日後十一時
仁川海岸町十一丁目 電話 堀 回漕部

大阪商船仁川出帆

○外航各所團航路（濟津航路を除く）同連絡御乘船の時は五分引を以て連絡切符發售仕候
◎關門、神戸、大阪行
×油頭丸 五月十八日後二時出帆
×須磨丸 五月廿四日後二時出帆
油頭丸 五月廿九日後二時出帆
◎木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行
×安東丸 五月二十日後二時出帆
×安東丸 六月七日後二時出帆
○横濱行
×漳州丸 五月廿八日後二時出帆
△福州丸 六月三日
◎南浦、關門、神戸、大阪行
須磨丸 五月廿二日後二時出帆
◎鎮南浦、大連行
×安東丸 六月二日
×安東丸 六月二十日後二時出帆
◎大連直航
×漳州丸 五月廿三日 正午出帆
△福州丸 五月廿八日
◎西湖津新浦城津清津行（元山出帆）
宮島丸 六月四日後十二時出帆
◎清津行（元山出帆）
[illegible]平丸 五月廿九日後十二時出帆
◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸 五月十九日前六時出帆
基隆丸 六月三日後四時出帆
御注意 ◎印航路は鐵道及び南滿洲鐵道各驛と船車の連絡切符發賣仕候 ×印は本船出帆前一時間迄貨物受付仕候 △印は一等客のみ取扱ひ
切符發賣所 大阪商船會社仁川支店 電話一二番、一二〇番、五五八番
切符發賣所 内國通運會社京城支店 電話七〇八番
切符發賣所 仁川京城通り 開豊旅館 電話二六一番

朝鮮郵船出帆

本社 電話長一九五二番二三一番
鐵道會社及社外船と貨客連絡運送の便あり社出張所代理店各取扱店に御照會あれ 京城南大門通 京城荷客取次店 松原運送店（電話長一七〇番）

○江原丸 六月三日
○京畿丸 五月廿四日
○黄海丸 五月廿九日
○咸鏡丸 五月十九日 釜山發（門司より釜山各港寄港の北鮮航路）
○穏城丸 五月十八日
○昌平丸 五月 日
○鏡城丸 五月廿一日 元山發（元山より各港經由雄基行）
○昌平丸 五月 日 元山發
○盛徳丸 五月廿二日 釜山發（甘浦、九龍里、浦項各港鬱陵島行）
○江陵丸 ○盛陽丸 毎日 釜山 浦項發（長生浦方魚津寄港）
○三浦丸 五月十八日 釜山發（長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港）
○濟州丸 ○慶尚丸 毎日 釜山發
○平壤丸 五月廿五日 元山發
○天草丸 二十日 木浦發
○慶興丸 五月廿七日 木浦發
○慶興丸 五月廿三日 木浦發
○公州丸 五月廿二日 木浦發
○麗水丸 ○晋州丸 五月廿三日 五月十八日 仁川發
○宗信丸 五月廿一日 仁川發
○全州丸 ○南陽丸 毎日午前 仁川發

商況
大阪株式時電
十七日前場（東株四十錢安）
五月限 二三八、三〇 二三九、九〇
六月限 二三七、四〇 二三八、五〇
七月限 二三四、四〇 二三六、四〇
大阪飛電
[illegible]
月中の調査數を聞くに左の如し
[illegible]
良に掛る
[illegible]